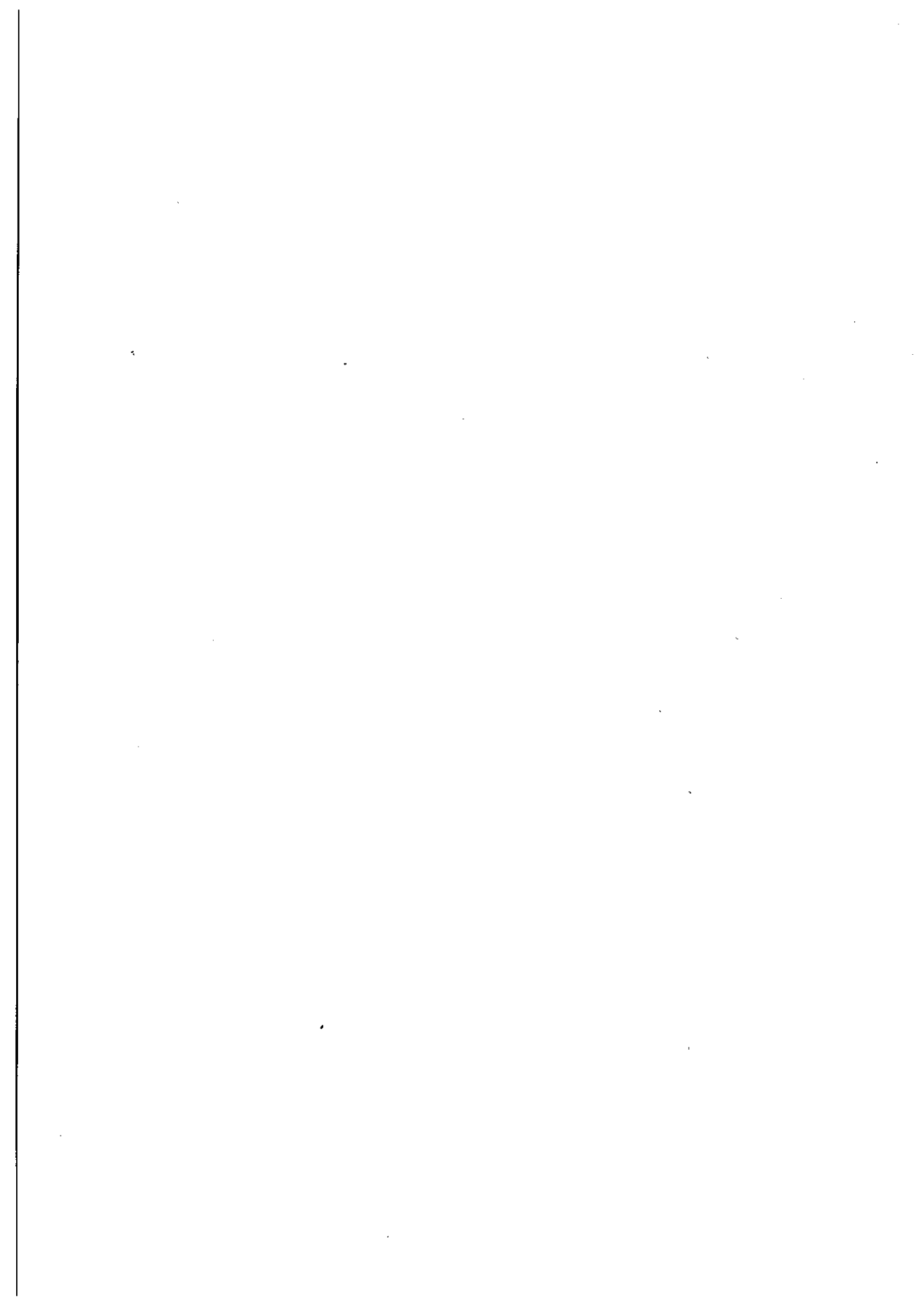


# 福島県の橋梁

「昭和59年度版」



福島県土木部



## はじめに

福島県においても、海外技術研修などにより、技術職員が欧米をはじめとして、海外をおとずれる機会が多くなりましたが、一様に強い感動を受け、感想を口にするのは、特に欧州の歴史的な建物と実にみごとな景観を造り出している橋梁の数々です。そして、歴史的な橋梁を背景に記念撮影した写真をよく見かけます。それだけ深い感銘を受け、美しい構造美をなす橋梁には人々を引きつけるふしぎな魅力があるのかもしれませんが。欧州には800年以上も経過する石造りのアーチ橋が数多くあり目を見張るばかりです。

欧州視察の報文を見ると、よく世界で最初に造られた鉄の橋として、イギリスのアイアンブリッジ (The Iron Bridge) の名を目にします。セバーン河上流のコールブルックデイル (Coalbrookdale) に架けられた支間30.5メートルの鑄鉄のアーチ橋で、コールブルックデイル附近に橋が少なく、またセバーン河の洪水に悩ませていたこともあり、民間での有料橋として建設推進されたものだそうです。当時は英国の産業革命に大きな影響を与えたほどの規模であり、1777年に着工され1781年に4箇年の歳月を費やして完成したものです。実に204年を経過しており、現在でもたび重なる補修を繰返して、歩行者専用として利用されております。

このように、古い伝統の上に立った、公共構築物を愛する欧州の人々の心には敬服するしだいです。本州・四国連絡橋の建設でわく華々しい我が国が今後学んでいかなければならないのは、「橋を愛する心」だと思えます。その意味で「福島県の橋梁」昭和59年度版が昨年引き続き発刊の運びとなりましたことは、橋梁を担当する技術者はもとより技術者以外の人にも「橋を愛する心」を育てていただくために、大いに役立つものと考えます。

そして、福島県の橋梁が皆さんに愛され、たいせつにさせていただくことを大いに期待いたします。

福島県土木部長 清 水 博

● ● ● ● 目 次 ● ● ● ●

1. 昭和59年度に完了した主な橋梁.....	4
1. 勢至堂大橋.....	4
2. 綱木橋.....	6
3. 戸中橋.....	8
4. 馬橋.....	10
5. 小綱木橋.....	12
6. 飯樋橋.....	14
7. 日の出橋.....	16
8. 昭代橋.....	18
9. 万才橋.....	20
10. 白子橋.....	22
11. 吉志田橋.....	24
12. 箱淵橋.....	26
13. 八幡橋.....	28
14. 下田橋.....	30
15. 遠北こ線橋.....	32
16. 軽井沢橋.....	34
17. 堀之内橋.....	36
18. 高橋橋.....	38
19. 落合橋.....	40
20. 大金沢橋.....	42
21. 渡戸橋.....	44
22. 黒滝橋.....	46
23. 中沼橋.....	47
24. 西海枝4号橋.....	48



25. 番屋橋	49
26. 湯ノ作橋	50
27. 千代田こ線橋	51
28. 瀬川橋	52
29. 門口橋	53
2. 県内橋梁の概要	54
(1) 橋数内訳	54
(2) 橋の総延長	54
(3) 年度別架設橋梁数	55
(4) 橋長ベスト10	55
3. 橋梁事業予算の推移	56
4. 昭和59年度完成橋梁一覧表	57
(1) 昭和59年度完了橋種別内訳	57
(2) 昭和59年度完了橋長別内訳	57
(3) 昭和59年度完了橋梁位置図	58
(4) 完了橋梁一覧表	60
5. 橋梁の文化化	68
(1) 東大橋の文化化について	68
(2) 七入橋の文化化について	74
6. 資料	75
(1) 耐候性鋼について	75
(2) 県内の耐候性橋梁	76
(3) 橋種、橋長別上部工工事費	81
(4) 長大橋一覧表	86
(5) 立体交差化すべき踏切道	90



# 1. 昭和59年度に完成した主な橋梁

## ① 勢至堂大橋 (3径間連続非合成鋼鈹桁)



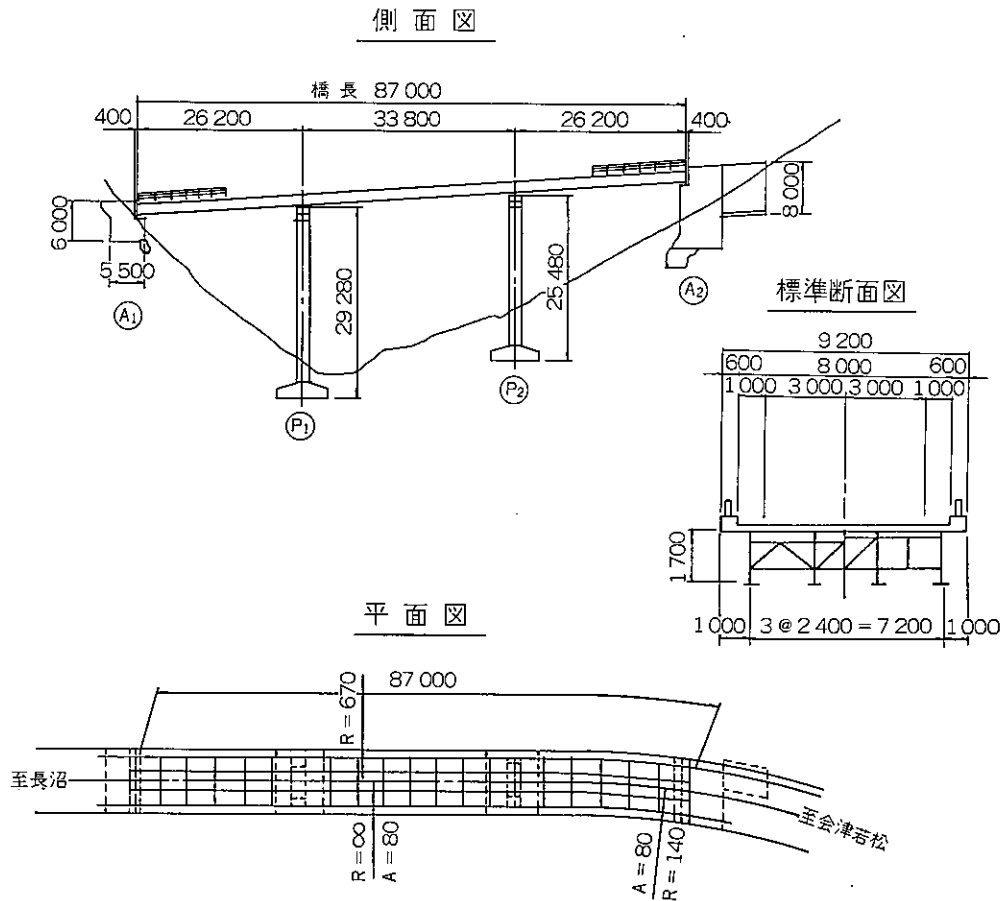
山岳道路特有の厳しい地形条件のところに基礎が建っている。



まだ粗く、色むらが若干あるが、安定錆が生成されつつある。

県南と会津の間に立ちはだかる交通の難所、勢至堂峠の解消を目指して鋭意改良工事を施工中であるが、その関連橋梁のひとつとして昭和57年に着手し、3ヶ年で完成した。

国庫補助事業では、県内で初めて耐候性鋼材を裸使用しており、現在徐々にではあるが、安定錆が生成されつつある。



道路種別	国	路線名	国道294号	総鋼重	133.0t
位置	起点側	岩瀬郡長沼町大字勢至堂		塗装種類	耐候性鋼材(無塗装使用)
	終点側	岩瀬郡長沼町大字勢至堂			
河川名		河川流量	m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーンによるステージング工法
橋長	87.000m			橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	26.200+33.800+26.200m			橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+3.0+3.0+1.0=8.0m			基礎工	直接基礎
橋格	1等橋(TL-20)			特記事項	事業費 223.8百万円

2

つな  
綱 木 橋 (3径間連続非合成鋼箱桁)



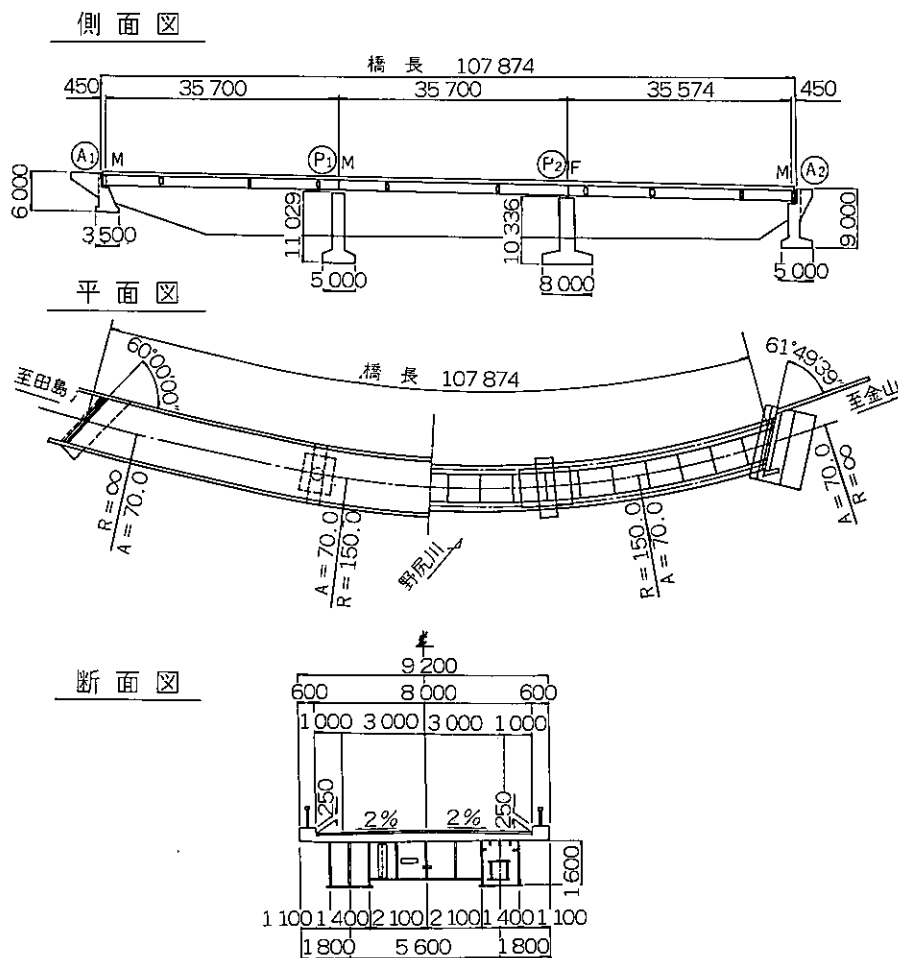
周囲の四季折々の色の変化が素晴らしく、桁は落ち着いた配色とした。



鋼箱桁が美しい曲線を描いている。



綱木工区は、名だたる豪雪地帯であり、狭隘な溪谷部を通過する本箇所の通行は難渋を極め、頻繁に発生する雪崩によって、交通が途絶することが度々であった。このため、雪崩による事故の防止と冬期間の交通の確保を目ざして、昭和55年度に当初地方道改良（田島・金山線）で着工され、その後昭和56年4月30日に国道昇格となり、国道400号国道改良（綱木工区）で継続施工されたものである。本橋は、昭和55年度に橋梁整備事業（綱木橋55～59、大綱木橋56～58、小綱木橋56～59）に着手し、ようやく昭和60年11月9日無事開通の運びとなった。



道路種別	国	路線名	国道400号	総鋼重	231.2t	
位置	起点側	大沼郡昭和村大字松山		塗装種類	㊟エッチングプライマー	㊤長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	大沼郡昭和村大字松山			㊠鉛糸ざび止ペイント	㊦超長油性フタル酸樹脂塗料
河川名	1級河川	野尻川(阿賀川支川)	河川流量	930 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	クローラクレーンによるステーキング工法
橋長	107.874m			橋台工	A <sub>1</sub> :コンクリート重力式、A <sub>2</sub> :鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	2@ 35.700+35.574m			橋脚工	P <sub>1</sub> 、P <sub>2</sub> :鉄筋コンクリート丸柱式	
幅員構成	路肩 等道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 8.0m			基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋 (TL-20)			特記事項	総事業費 292.1百万円	

3 戸 中 橋 (単純合成鋼鈹桁+単純合成H鋼桁)



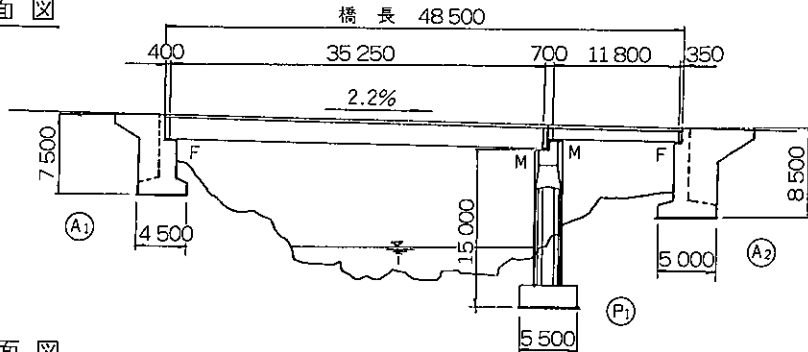
自然との調和。清流館岩川に架かる戸中橋。



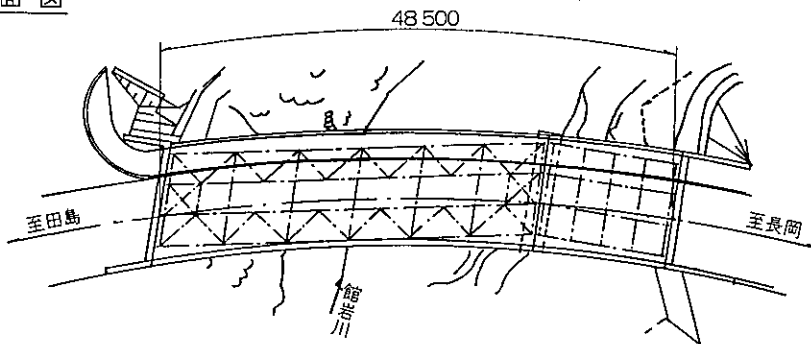
館岩川の流心を避け異スパンで架けられた新橋。生徒も安心して渡れる通学路でもある。

一般国道 352 号は、館岩村の重要な生活幹線道路であり、会津高原高杖スキー場、秘湯・湯の花、木賊温泉等奥会津観光の重要な観光道路でもある。人家連担部を避けて計画された戸中バイパスに架かる戸中橋は、岩魚山女の棲む清流館岩川の景観とあいまって、ドライバーの心をなごませてくれる。なお、本橋は国道特殊改良 1 種事業の一環として昭和 58 年度に着手し、村立館岩中学校の新築移転関連として、昭和 59 年度に国土総合開発事業調整費を導入し、全区間 3 ヶ年という短期間での完成となった。

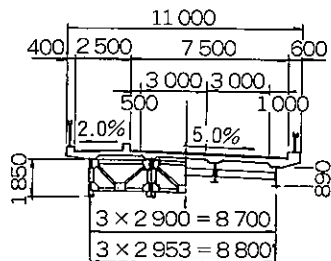
側面図



平面図



断面図



道路種別	国	路線名	国道 352 号	総鋼重	85.2t	
位置	起点側	南会津郡館岩村大字戸中		塗装種類	②エッチングプライマー ①鉛糸さび止ペイント ④超長油性フタル酸樹脂塗料 ⑤長油性フタル酸樹脂塗料	
	終点側	南会津郡館岩村大字戸中				
河川名	1級河川	館岩川(伊南川支川)	河川流量	550 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	48.500m			橋台工	鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	35.250+11.800m			橋脚工	鉄筋コンクリート張出式丸柱橋脚	
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 全幅 2.5+ 0.5+ 3.0+ 3.0+ 1.0=10.0m			基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋 (TL-20)			特記事項	総事業費 117.5百万円	

4

うま  
馬

# 橋 (単純PCプレテンT桁)



両側歩道がつき、幅員の広くなった馬橋。

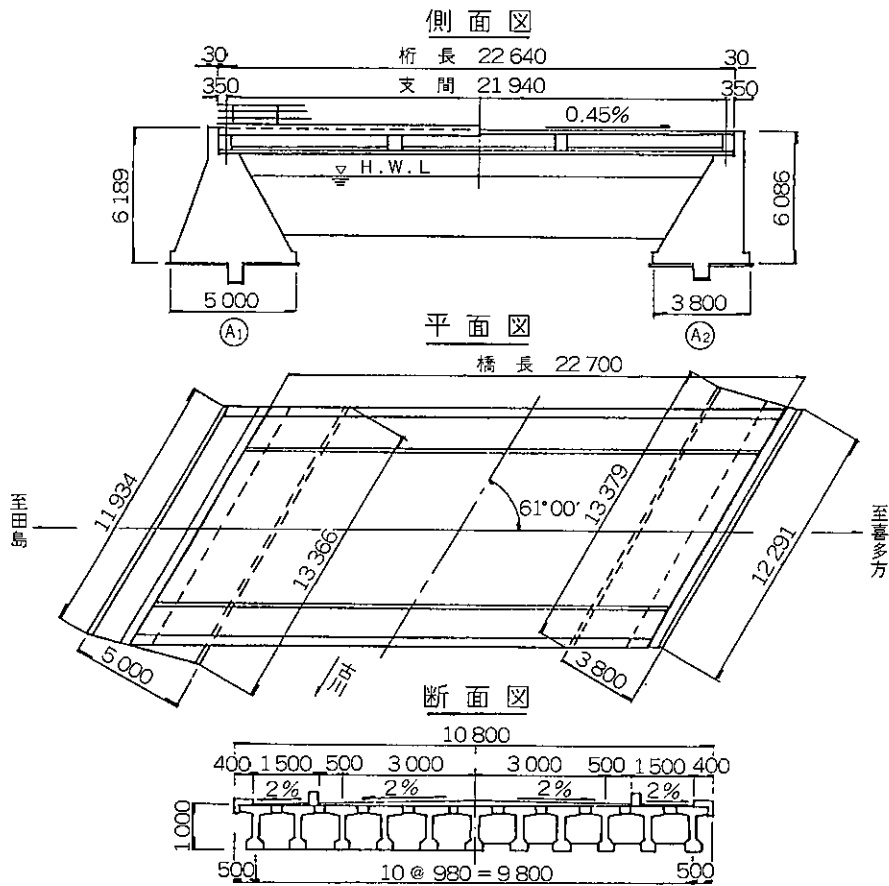


合併施工により整備された新橋附近。



会津若松市街地を流れる湯川支川、古川の河川改良工事に伴い合併工事として、県単橋梁整備事業にて対応した。

市街地内での幹線道路の工事ということで、円滑な交通処理、工期の短縮につとめ、1ヶ年での施工となった。旧橋は昭和14年架設のRC T桁であり、全幅7.6mと前後の道路よりも狭かったが、新橋は道路幅員と合せ、両側1.5mの歩道をもつ橋に生まれ変わった。



道路種別	国	路線名	国道121号		総鋼重	
位置	起点側	会津若松市門田町大字年賀町			塗装種類	
	終点側	会津若松市表町				
河川名	1級河川	古川(湯川支川)	河川流量	122 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	22.700m				橋台工	コンクリート重力式
支間割	21.940m				橋脚工	
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 1.5 + 0.5 + 3.0 + 3.0 + 0.5 + 1.5 = 10.0m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 74.5百万円 (道路 12.4百万円 河川 62.1百万円)

5 小 綱 木 橋 (単純PCポステンT桁)



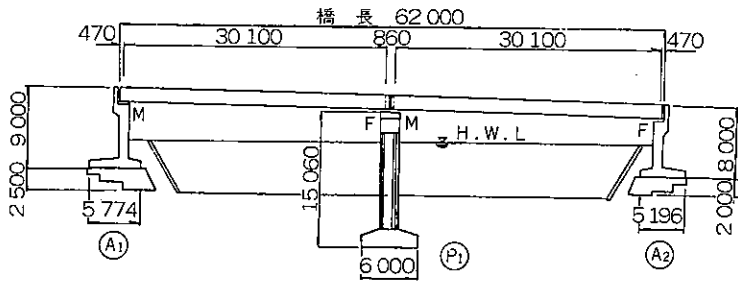
小綱木橋とともに新しく生まれ変わった国道400号。



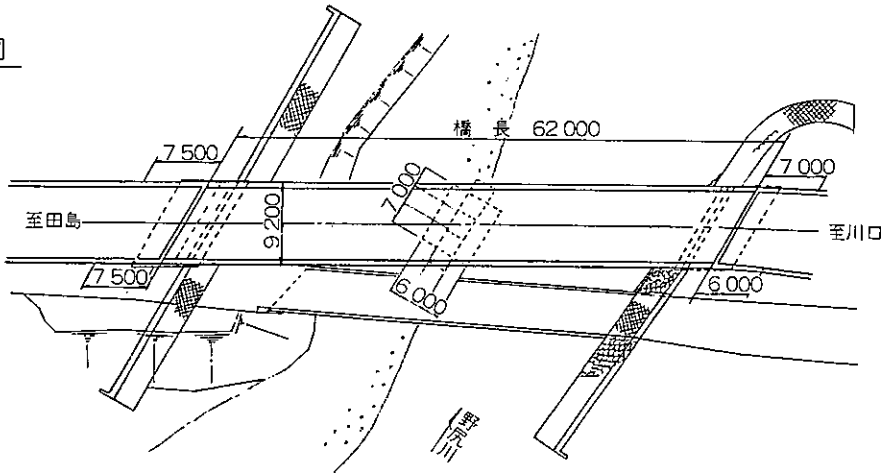
野尻川に雄姿を映す新橋。

前述の綱木工区3橋のうちの1橋であり、昭和56年度より橋梁整備工事として着手している。豪雪地域における冬期交通の確保は死活問題であり、道路整備に寄せる住民の期待は計りしれない。綱木工区の完成により、冬期交通の確保はもとより、産業経済の発展に大きな役割を荷なうべく、本橋はこれからの一層活躍するであろう。

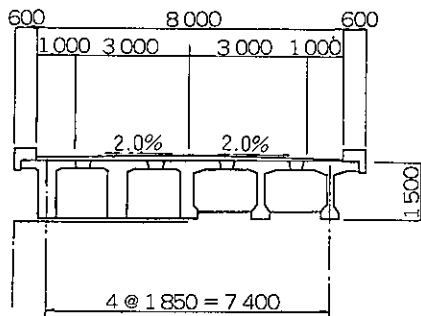
側面図



平面図



断面図



道路種別	圖	路線名	国道400号		総鋼重	
位置	起点側	大沼郡金山町大字玉梨			塗装種類	
	終点側	大沼郡金山町大字玉梨				
河川名	1級河川	野尻川(阿賀川支川)	河川流量	930 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	架設桁工法
橋長	62.000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	2@ 30.100m				橋脚工	鉄筋コンクリート丸柱式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 3.0m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 189.5百万円



6

いい とい 橋 (単純PCプレテンT桁)  
飯 樋



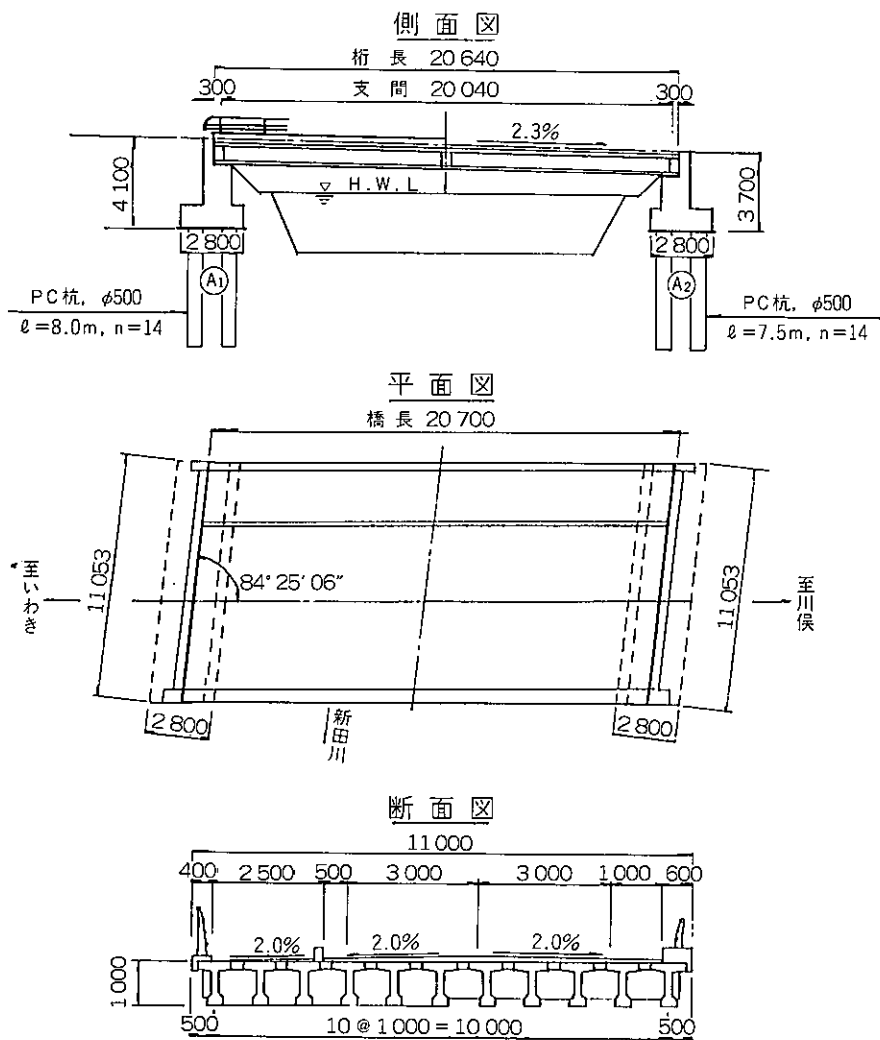
交差点改良を含め、架替えられた飯樋橋の全景。



国道とは名ばかりの旧橋。整備の遅れている国道399号。



旧橋は幅員 4.6 m、昭和 4 年架設の老朽橋であったが、新田川の河川改良工事との合併により、昭和 58 年度から県単橋梁整備として着手し、順調に 2 ヶ年で完成した。阿武隈山系地域の発展にとって国道 399 号の整備は不可欠であり、本事業は河川改良と計画を合せ、交通のネック箇所を解消すべく進められたものである。



道路種別	国	路線名	国道 399 号		総鋼重	
位置	起点側	相馬郡飯館村大字白岩			塗装種類	
	終点側	相馬郡飯館村大字白岩				
河川名	2 級河川	新田川	河川流量	100 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	20.70m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	20.04m				橋脚工	
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 全幅 2.50+0.50+3.00+3.00+1.00=10.0m				基礎工	PC 杭基礎 φ 500
橋格	1 等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 78.4 百万円 (道路費 65.4 百万円 河川費 13.0 百万円)

7 ひ の 出 橋 (単純合成H鋼桁)

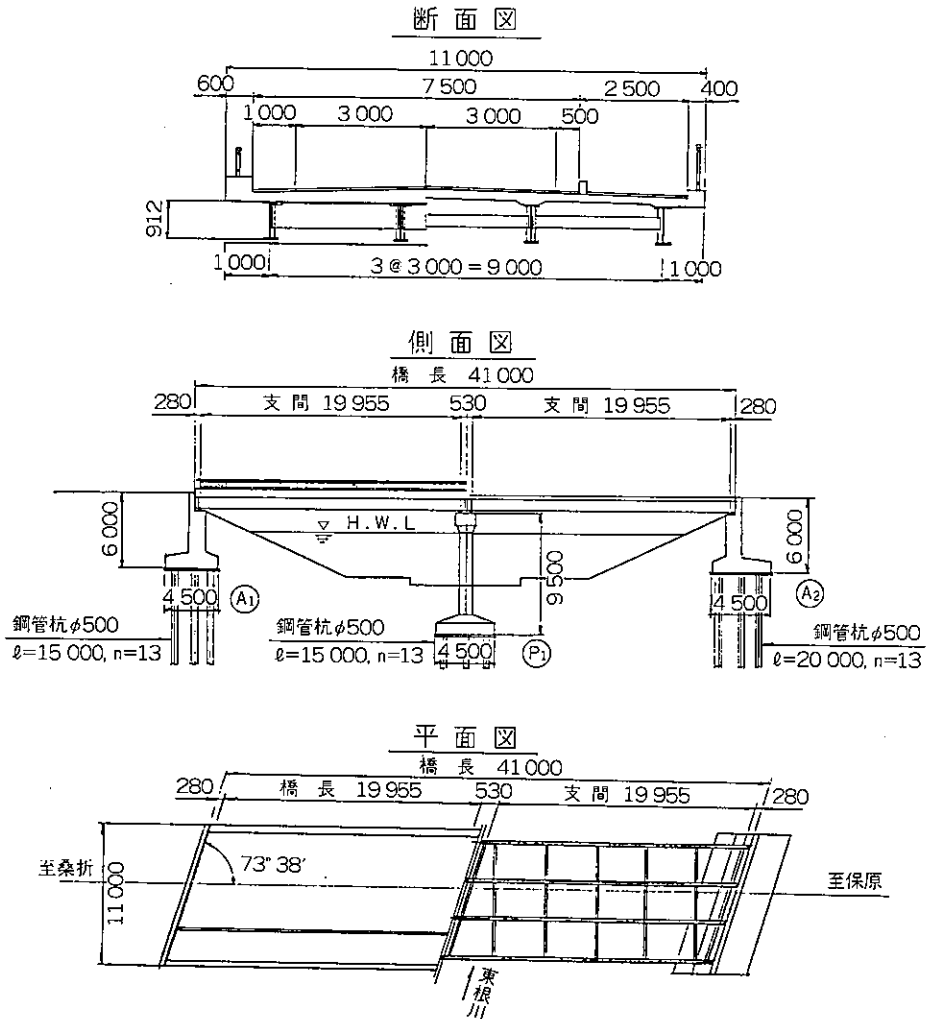


橋の新設により整備された主要地方道浪江国見線。



東根川の小規模河川改良と合併し架けられた新橋。

阿武隈川の支川の1つである1級河川東根川の付替えにより、合併事業として、昭和58年度より地方道橋梁整備事業として着工された。東根川小規模河川改良工事の工程と整合を計り、2ヶ年で完成した。梁川町と国道4号(国見町)を結ぶ本路線は、交通量が多いため一般交通に支障なきよう、短期間施工により道路利用者の安全と利便を考慮し施工された。



道路種別	①	路線名	浪江国見		総鋼重	71.4t
位置	起点側	伊達郡保原町中瀬			塗装種類	② エッチングプライマー ③ 鉛系さび止ペイント ④ 超長油性フタル酸樹脂塗料 ① 長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	伊達郡保原町中瀬				
河川名	1級河川 東根川(阿武隈川支川)		河川流量	150 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	41.000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	2@ 19.955m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 全幅 2.5+0.5+3.0+3.0+1.0=10.0m			基礎工	鋼管杭基礎 φ 500	
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 136.0百万円 (道路費 53.7百万円) 河川費 82.3百万円

8

しょう  
昭

だい  
代

橋

(4径間連続非合成鋼鈹桁)



安達太良山を背景に新しく生まれ変わった昭代橋。

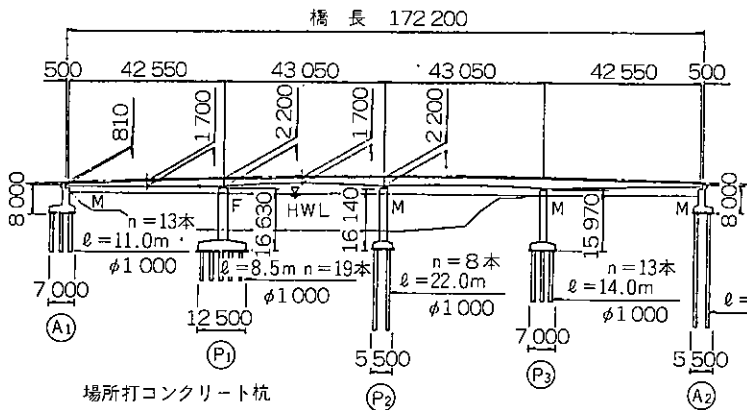


橋上広場をもつ新橋は阿武隈川の流れに映え、新しいシンボルとなる。

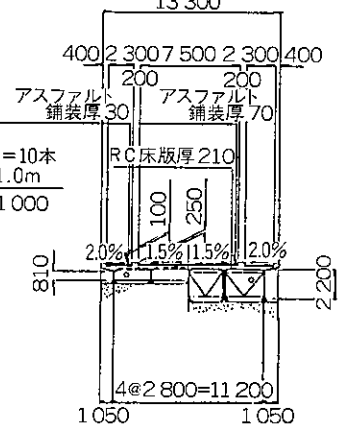


阿武隈川に架かる旧橋は、かつて昭和28年に森繁久弥主演の「警察日記」の舞台となった橋であり、本橋付近では、毎年夏には「舟漕ぎ競争」や「灯籠流し」が行なわれている。このような歴史的背景を配慮し「文化のための1%システム」を導入して架替えられた新橋は、地元の人々の心をとらえ、その喜びは盛大な開通式となり、新橋の完成は高く評価されている。なお、本橋の架替えは地方道橋梁整備として、昭和51年度に着工し、開通まで10ヶ月という長い歳月と、約15.8億という巨額を投資し完成した。水の町本宮の新しいシンボルとして活躍するとともに、長く地元の人々に愛されることでしょう。

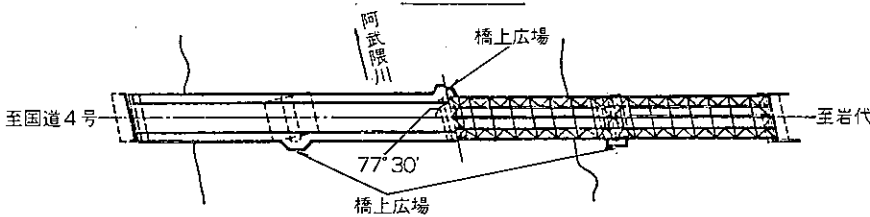
側面図



断面図



平面図



道路種別	⊖	路線名	本宮岩代		総鋼重	476.9t
位置	起点側	安達郡本宮町大字荒町			塗装種類	②エッチングプライマー ①長油性フタル酸樹脂塗料 ③鉛系さび止めペイント ④超長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	安達郡本宮町大字高木				
河川名	1級河川 阿武隈川		河川流量	5,400 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	ケーブルクレーンによるステーキング工法
橋長	172,200m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	2@ 42.55+2@ 43.05m				橋脚工	鉄筋コンクリート張出し式
幅員構成	歩道 路肩 等道 車道 路肩 歩道 全幅 2.05+0.50+3.25+3.25+0.50+2.50=12.5m				基礎工	場所打杭基礎 φ1,000%
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 1,578.1百万円 (補助 1,550.7百万円) 単費 27.5百万円

9

まん ざい  
万 才 橋

(単純合成H鋼桁+単純合成鋼鈹桁)



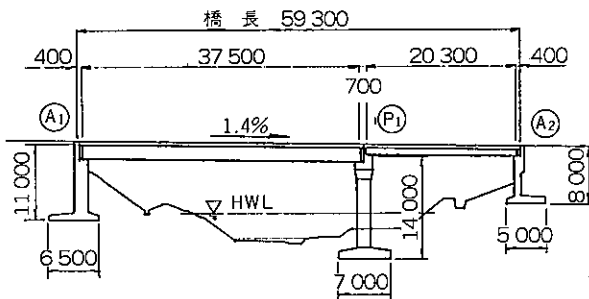
主要地方道矢吹天栄線の付替えにより、新設された万才橋。



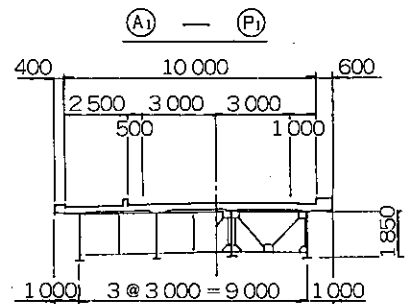
鈹桁とH鋼桁を組合せ、近接橋としてスパン割りされた新橋。

主要地方道矢吹天栄線の付替えにより、地方道特殊改良1種事業（大信工区）関連橋梁として本橋は、昭和57年度より地方道橋梁整備事業として着工し、阿武隈川支川の一級河川隈戸川に架けられた。現在、県南地方は工業誘致が盛かんに進められているが、今回も大信村の工場団地建設と合わせ、道路整備が計画的に進められた。東北縦貫自動車道と平行しているため、新橋は近接橋の取扱いとなり、橋脚位置が既設橋の橋脚の見通し線上になるため、異スパンにて計画されている。

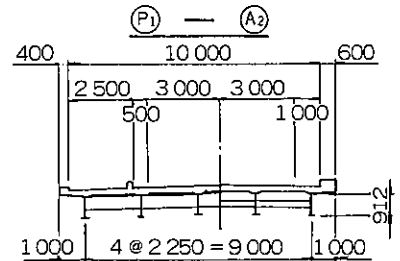
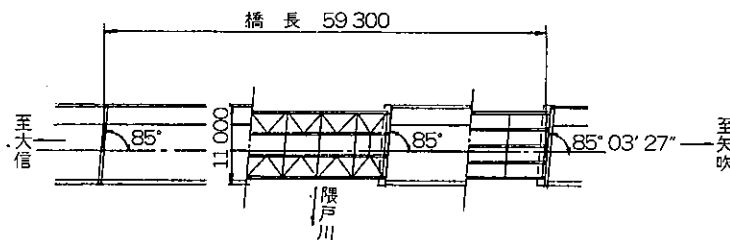
側面図



断面図



平面図



道路種別	④	路線名	矢吹天栄		総鋼重	115.5t	
位置	起点側	西白河郡矢吹町井戸尻			塗装種類	②エッチングプライマー ④長油性フタル酸	
	終点側	西白河郡矢吹町井戸尻				①鉛糸さび止めペイント 樹脂塗料	
河川名	1級河川	隈戸川(阿武隈川支川)	河川流量	660 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーンによるステーキング工法	
橋長	59,300m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	36,750+21,300m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式(小判型)	
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 0.5+ 2.5=10.0m				基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋(TL-20)				特記事項	総事業費 135.7百万円	



10

しらこ  
白子橋 (単純合成鋼鈹桁)



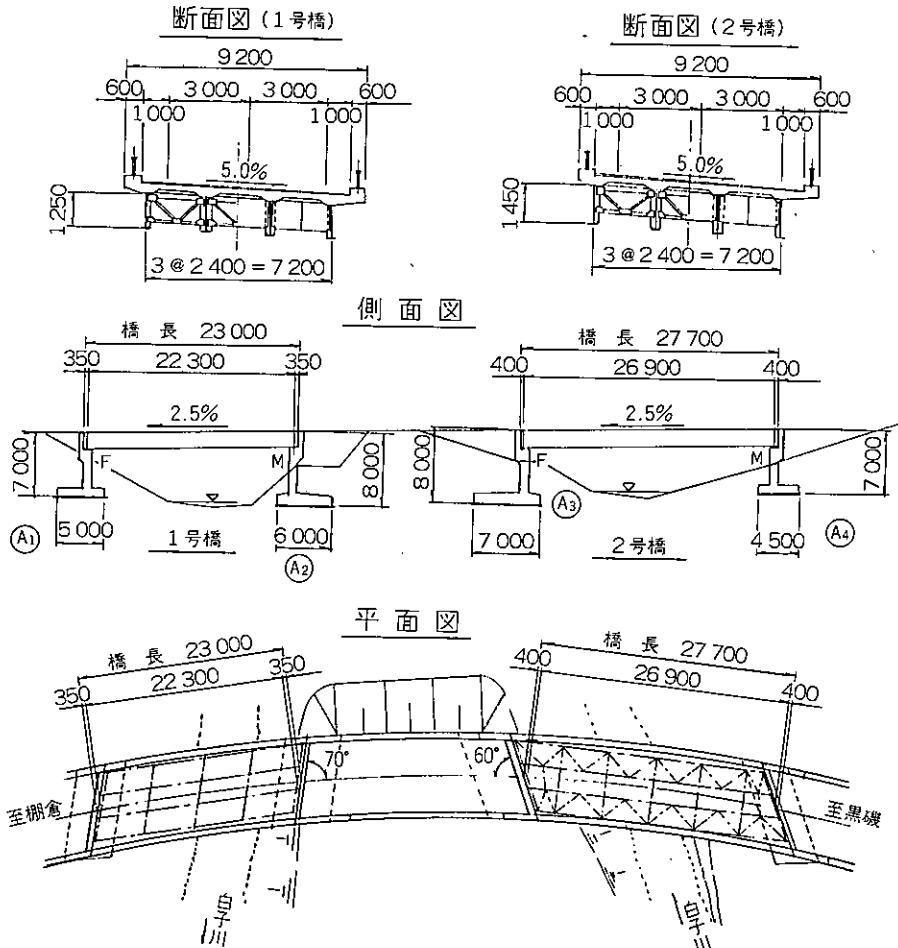
橋梁の新設と伴に着々と進められる道路改良工事。



2つの橋を合せ、白子橋として採択された。



東白川郡の中心地棚倉町と栃木県黒磯町を結ぶ主要地方道黒磯棚倉線は、昭和50年度より地方道改良（戸中工区）として大規模な付替え工事が進められている。同工区内には5つの橋梁が計画されているが、白子橋の完成によりすべての橋梁が完成した。すでに工区の約60%は供用されており、全面開通に向け着々と工事が進められている。白子橋は、久慈川支川の1級河川白子川に計画され、改良計画に合わせ、昭和56年度に地方道橋梁整備事業として着工したものである。



道路種別	④	路線名	黒磯棚倉		総鋼重	67.4t
位置	起点側	東白川郡棚倉町大字戸中			塗装種類	②エッチングプライマー ③鉛糸さび止めペイント ④超長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	東白川郡棚倉町大字戸中				
河川名	1級河川 白子川(久慈川支川)		河川流量	156 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車によるステーキング工法
橋長	23.000+27.700=50.700m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	22.30+26.90m				橋脚工	
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0 + 3.0 + 3.0 + 1.0 + 8.0m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 114.0百万円

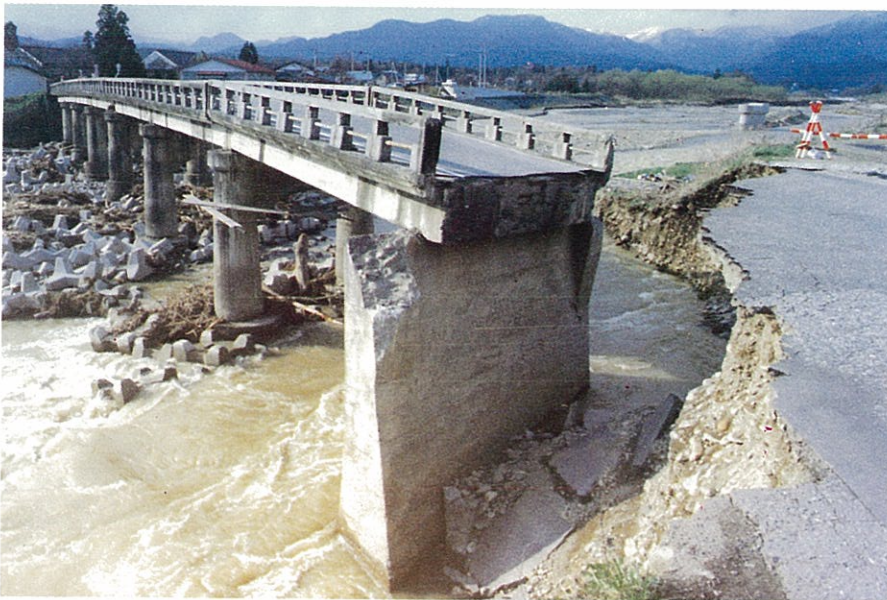
11

よし し だ おお  
吉志田大橋

(3径間連続非合成鋼鈹桁+単純非合成鋼箱桁)

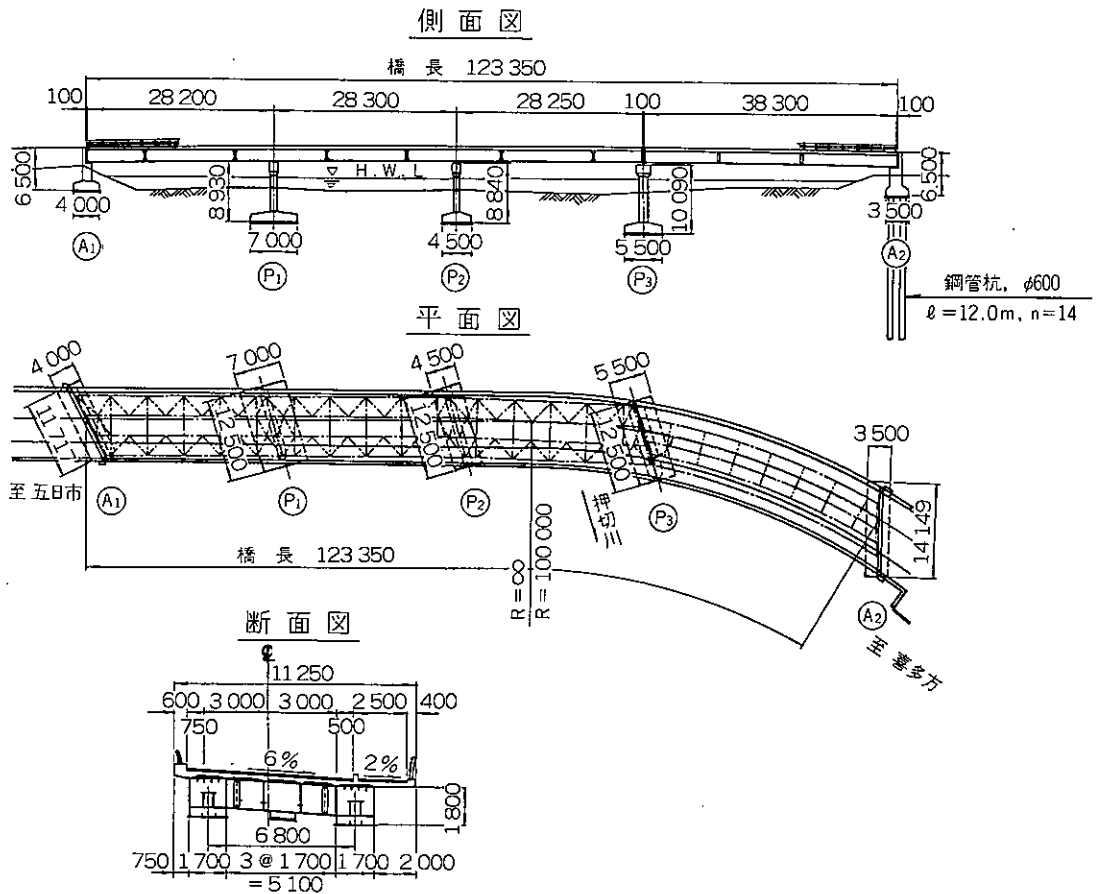


美しくカーブを描き、安心して通れる吉志田橋。



融雪出水により橋台の背面をえぐられ、落橋寸前の旧橋。

子宝に恵まれることで知られている熱塩温泉へは、国鉄日中線の廃止に伴い交通手段は自動車のみとなった。蔵の町喜多方と熱塩温泉、さらに日中ダムとを結ぶ一般県道日中喜多方線の押切川に架かる旧橋は、昭和9年に架設されたもので老朽化が著しく、昭和55年度より地方道橋梁整備事業として着工した。万年雪をたたえる飯豊山地からの融雪により、昭和57年4月13日～17日かけ、旧橋は左岸橋台の背面をえぐられ落橋の無惨な姿をさらした。新橋は4径間で計画され、左岸側の1径間がカーブがきついため、箱桁を採用している。吉志田大橋の完成により、雪の恐怖におびえることはなくなった。



道路種別	⊖	路線名	日中喜多方		総鋼重	241.6t
位置	起点側	喜多方市松山町鳥見山			塗装種類	②エッチングプライマー      ①長油性フタル酸樹脂塗料 ③鉛糸さび止めペイント ④超長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	喜多方市松山町鳥見山				
河川名	1級河川	押切川(阿賀川支川)	河川流量	485	架設工法	自走クレーン車によるステーキング工法
橋長	123.350m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	27.90+28.30+27.95+37.50m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 0.75+3.00+3.00+0.50+2.50+9.75m				基礎工	A <sub>2</sub> :鋼管杭基礎 φ600、直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 409.2百万円



12

はこ  
箱

ぶち  
淵

橋

(単純合成鋼鈹桁)



豪雪地帯の生活道路として、道路整備が急がれている。



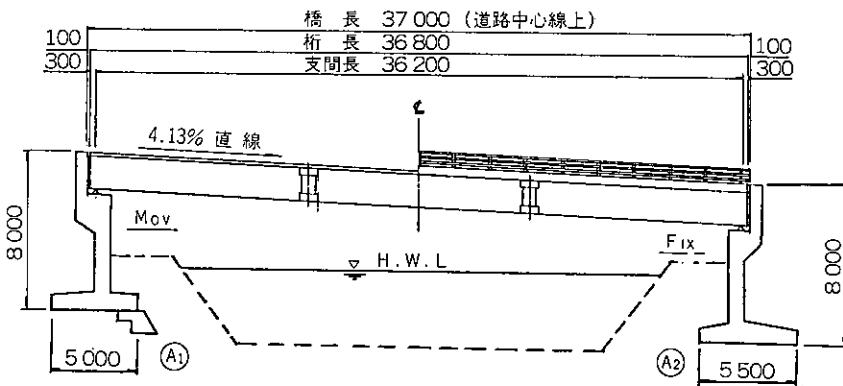
魚もびっくり。大谷川に黄い桁が映える。



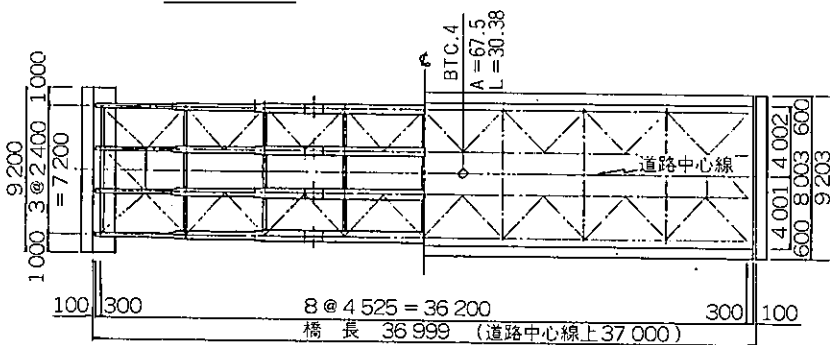
「奥地等産業開発道路整備臨時措置法（昭和39年度法律第115号）」に基づく、奥地等産業開発道路整備計画は現在第6次5ヶ年計画を迎え昭和58年度より総投資額1,400億円を投入する計画であり、産業開発、奥地のへんびな地域の開発、観光開発等地域格差の是正と経済発展に資するためのものである。

この指定区間内にある本橋は地方道橋梁整備事業として、昭和58年度に着工した。地方道特殊改良1種事業の浅岐工区と工程を合わせた道路整備は、雪深い奥会津の生活道路として大きな期待がかかる。

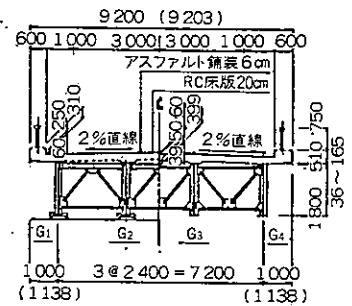
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊖	路線名	小林会津宮下停車場線		総鋼重	62.9t	
位置	起点側	大沼郡三島町大字浅山崎			塗装種類	②エッチングプライマー	①長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	大沼郡三島町大字浅山崎				③鉛系さび止めペイント	
河川名	1級河川	大谷川(阿賀川支川)	河川流量	220 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	トラッククレーンによるステーキング工法	
橋長	37.000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	36.200m				橋脚工		
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 8.0m				基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 91.8百万円	

13

はち まん  
八 幡 橋 (単純合成鋼鈹桁)



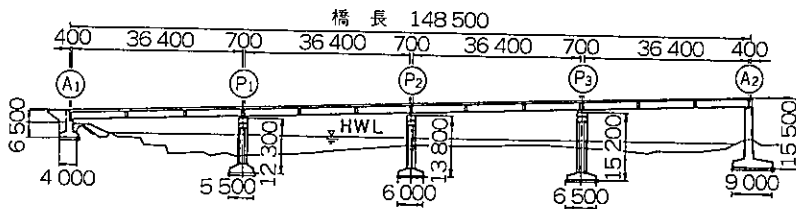
大型車でも大丈夫、安心して渡れる八幡橋。



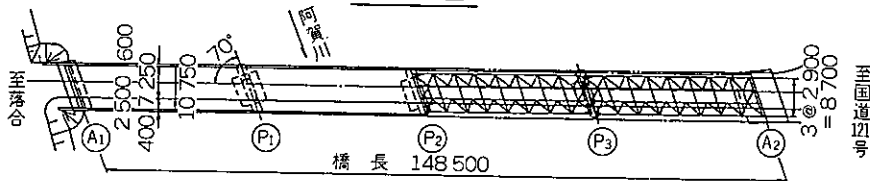
阿賀川の静かな流れにマッチし、端麗な美しさがさえる。

むかし昔から阿賀川流域の人々は、川とともに生きて来たわけであるが、両岸の人々にとってお互いに近くて遠い存在であった。橋の存在は日常生活に欠くことのできないものであり、橋への愛着も一層強いわけである。時には大きな災害をもたらす母なる阿賀川に架かる八幡橋は、昭和30年架設であるが、老朽化が著しく荷重制限2tと危険な橋であった。そこで、昭和55年度より地方道橋梁整備事業として架け替えに着手した。生活路線の確保とともに、地域の経済、産業に大きく貢献するものとして期待が寄せられている。

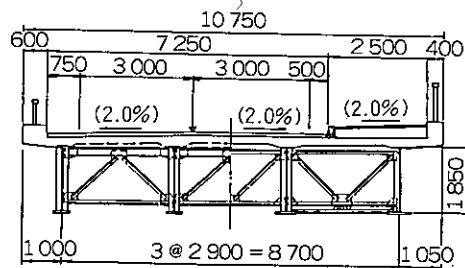
側面図



平面図



断面図



道路種別	⊖	路線名	落合豊成線		総鋼重	275.0t
位置	起点側	南会津郡下郷町大字落合			塗装種類	㊸エッチングプライマー ㊹長油性フタル酸樹脂塗料 ㊺鉛系さび止めペイント ㊻超長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	南会津郡下郷町大字豊成				
河川名	1級河川	阿賀川	河川流量	2,340 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車によるステーキング工法
橋長	148.500m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	4 @ 36.400m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 0.075+3.00+3.00+0.50+2.50=9.75m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 463.4百万円



14

しも  
下

だ  
田

橋

(単純PCプレテンションT桁)



橋の架替えにより、整備された主要地方道川俣安達線。



小規模河川改良と合せ、新しくなった下田橋。





15

とう きた せん  
遠 北 こ 線 橋

(単純PCポステンT桁+単純PCプレテンT桁)

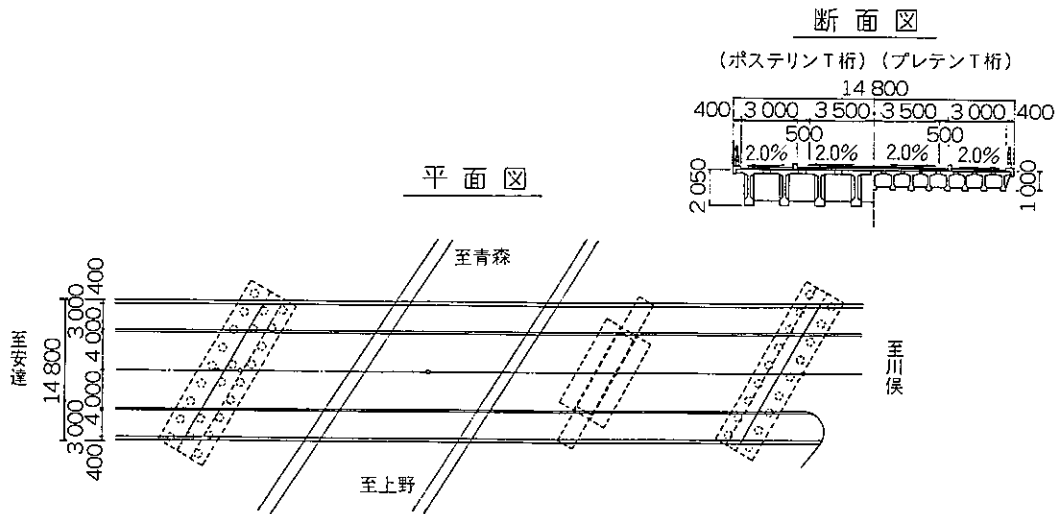
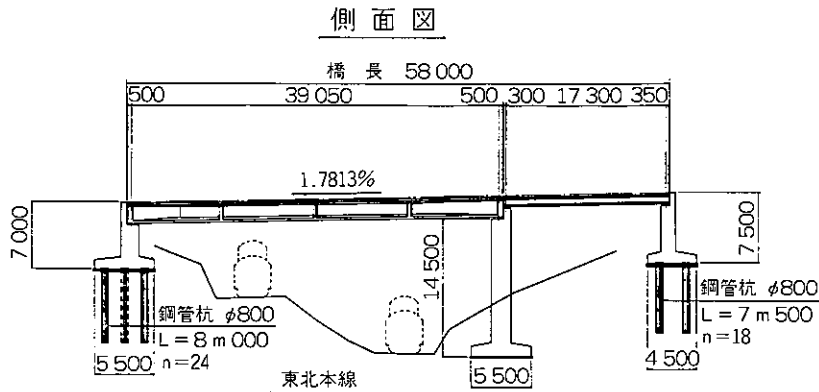


国道4号バイパスと安達町市街地（旧国道4号）を結ぶ一般県道二本松安達線。



東北本線を立体交差し、円滑な交通の流れと安全を確保する。

東北本線と立体交差する川俣街道踏切は、交通量が多く1日の遮断時間が長い  
ため交通のネックとなっており、立体交差のこ線橋として踏切を除却すべく、昭和55  
年度より工事に着手した。工事延長は1,070 mにおよび、こ線橋を含む1工区620m  
が昭和59年7月26日に開通した。着工から5ヶ年で踏切除却が完成した本ケースは、  
投資効率の高い踏切除却事業となった。なお、2工区450 mについては鋭意施工中  
であり、昭和61年度完成予定である。



道路種別	⊖	路線名	二本松安達線		総鋼重	
位置	起点側	安達郡安達町油井			塗装種類	
	終点側	安達郡安達町油井				
鉄道名	東北本線		河川流量	m <sup>3</sup> /sec	架設工法	架設術工法及び自走クレーン車工法
橋長	58,000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	39,000+17,500m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 3.00+0.75+3.25+3.25+0.75+3.00=14.0m				基礎工	A <sub>1</sub> 鋼管杭基礎、P <sub>1</sub> 直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 615.8百万円 (道路費 586.3百万円、鉄道費 29.5百万円) 見込み



16

かる い ざわ

# 軽井沢橋

(単純PCプレテンションT桁)

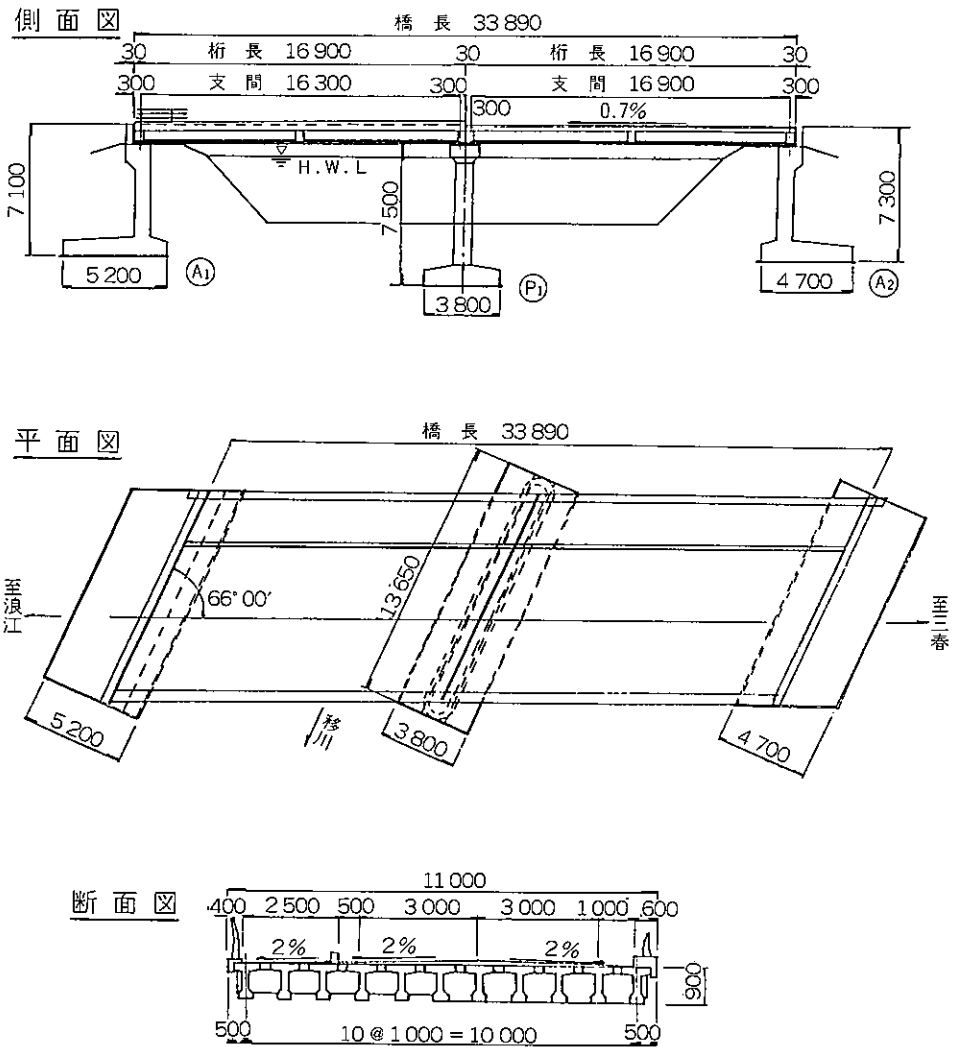


軽井沢橋の架替えにより整備された主要地方道浪江三春線



小規模河川改良と合わせ、整備された新橋。

1級河川移川の河川改良工事に伴い、合併工事として昭和58年度より県単橋梁整備事業として着手し、2ヶ年で完成した。旧橋は昭和11年架設のRC T桁であり、河川改修に伴い、橋長14.8mから33.89mの橋に架替えられた。



道路種別	⊕	路線名	浪江三春		総鋼重
位置	起点側	田村郡船引町大字新館			塗装種類
	終点側	田村郡船引町大字新館			
河川名	1級河川	移川(阿武隈川支川)	河川流量	290 m <sup>3</sup> /sec	架設工法
橋長	33.890m				橋台工
支間制	2@ 16.300m				橋脚工
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 全幅 2.5+ 0.5+ 3.0+ 3.0+ 1.0=10.0m				基礎工
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項
					総事業費 99.3百万円 (道路 62.7百万円 河川 36.6百万円)

17 ほりのうち 堀之内橋 (単純PCプレテンションT桁)



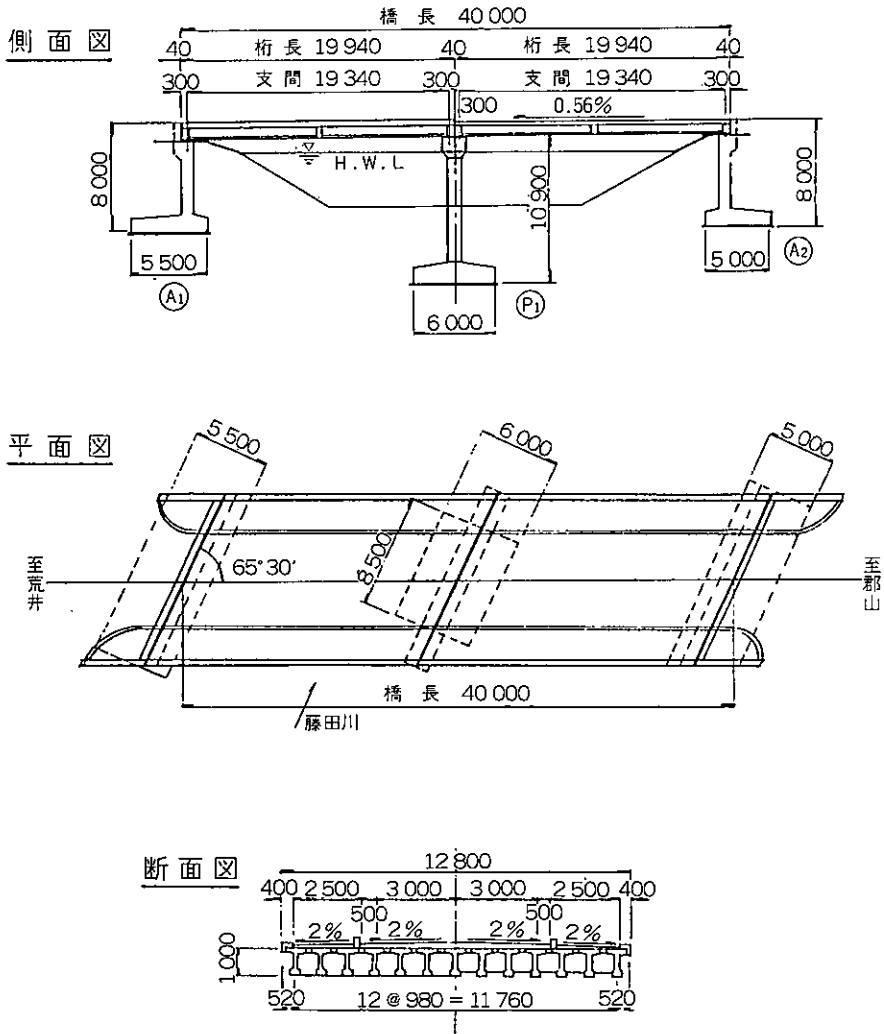
新設された堀之内橋。



秋晴れの中、盛大に開通式が行なわれた。



郡山市立喜久田小学橋の新築移転に伴い、児童の通学路を確保するため、昭和58年度に県単橋梁整備事業にて本橋に着手し、昭和60年11月3日、盛大に開通式が行なわれた。児童の通学路確保のため学校関連として順調に2ヶ年で完成したことは、財政事情の厳しい時期にあって、最大限の努力がはられた。



道路種別	⊖	路線名	荒井郡山		総鋼重	
位置	起点側	郡山市喜久田町大字堀之内			塗装種類	
	終点側	郡山市喜久田町大字堀之内				
河川名	1級河川 藤田川(阿武隈支川)		河川流量	170 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	40.000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	2@ 19.340m				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 2.5+ 0.5+ 3.0+ 3.0+ 2.5+ 0.5=12.0m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 125.7百万円

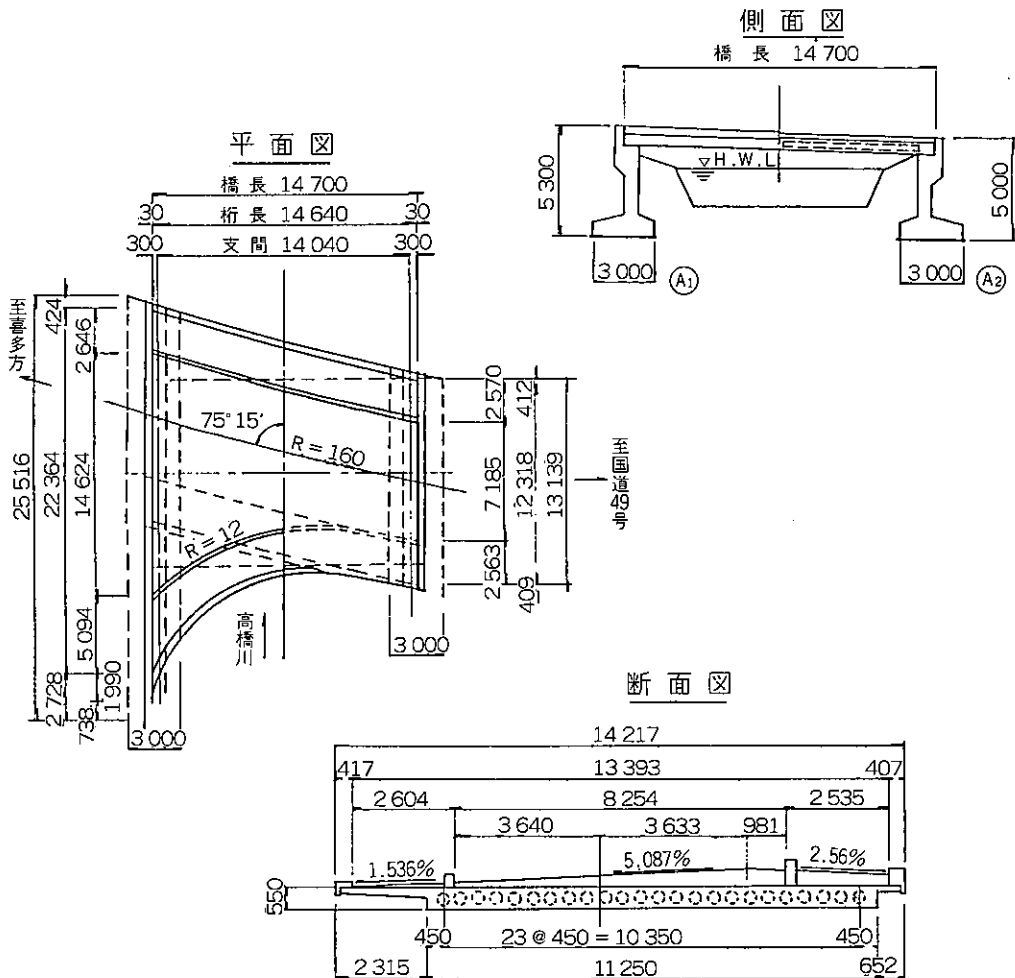


極端なバチ型構造を有する高橋橋。



オールステーシング工法における支保工施工状況。

高橋川の河川改良事業に伴い合併工事として、昭和55年度に県単橋梁整備事業にて対応した。磐越西線翁島駅への翁島停車場線との交差部に位置し、極端なバチ型構造となるため、上部工構造の隅角部処理については十分な検討を加え、オールステージング工法によるP C中空床版を採用した。今後、交差部等における隅角部処理法として本工法は多用されるものと思われる。



道路種別	⊖	路線名	翁島(停)磐根	総鋼重		
位置	起点側	耶麻郡猪苗代町大字磐根		塗装種類		
	終点側	耶麻郡猪苗代町大字磐根				
河川名	1級河川	高橋川(阿賀川支川)	河川流量	40 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	オールステージング工法
橋長	14.700m			橋台工	鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	14.040m			橋脚工		
幅員構成	歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道 全幅 2.5+ 0.5+ 3.0+ 3.0+ 0.5+ 2.5=12.0m			基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋 (TL-20)			特記事項	総事業費 46.4百万円 (道路 20.6百万円 河川 25.8百万円)	





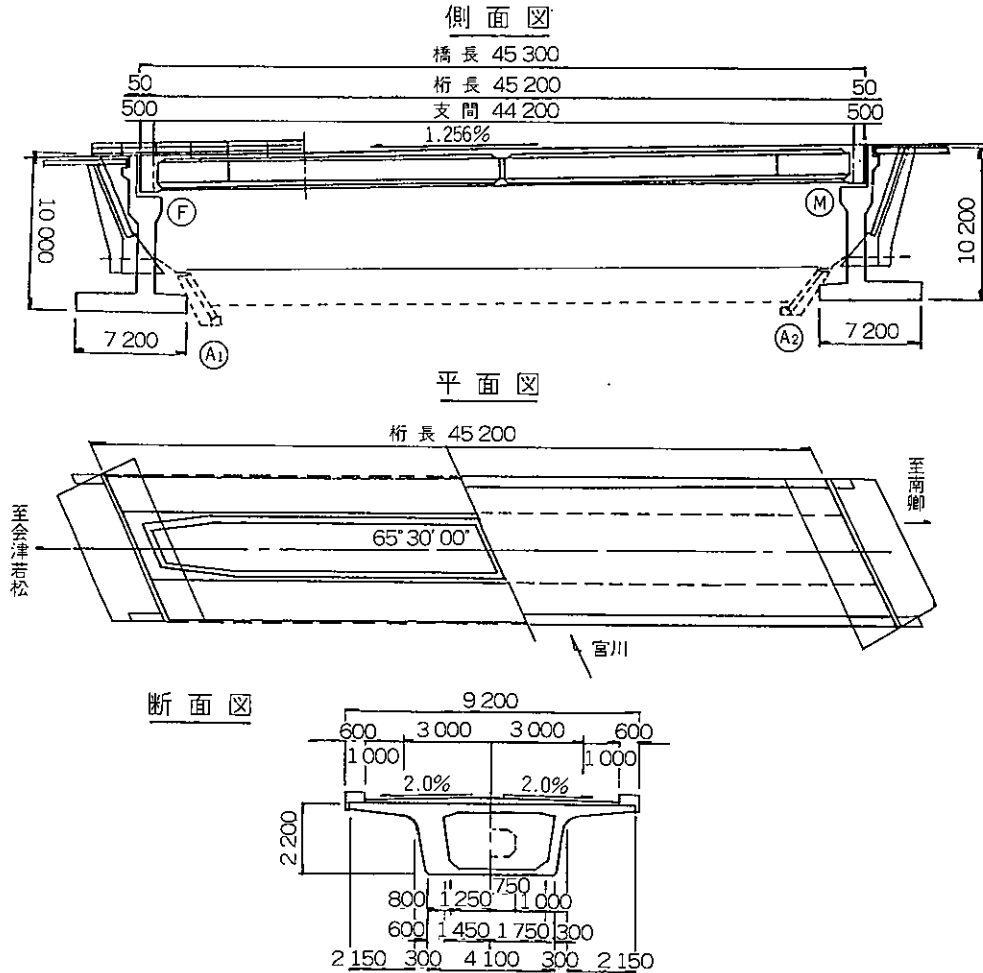
コンクリート1 B Q Xの端整な美が際立つ落合橋。



冬期間施工となった上部工施工状況（オールステージング工法）。



阿賀川水系宮川に農林水産省が、かんがい用水ダム（新宮川ダム）建設事業を計画しており、昭和60年度より県道を工事用道路として本格的な工事に着手する。そのため、昭和59年度に落合橋の架け替え及び前後の取付道路を、国土総合開発事業調整費により施工した。調整費の場合は、箇所内定通知が9月中旬となるため、上下部施工の実質工期が5ヶ月あまりしかなく、工期短縮のため1径間のオールステーピング法を採用した。豪雪地帯で、なおかつ冬期間の施工でありながら出来栄えは見事であり、施工者の苦勞がしのばれる。



道路種別	⊕	路線名	会津若松南郷		総鋼重
位置	起点側	大沼郡会津高田町大字西尾			塗装種類
	終点側	大沼郡会津高田町大字西尾			
河川名	1級河川	宮川(阿賀川支川)	河川流量	32 <sup>m</sup> /sec	架設工法
橋長	45.300m				橋台工
支間割	44.200m				橋脚工
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 8.0m			基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項
					総事業費 94.5百万円



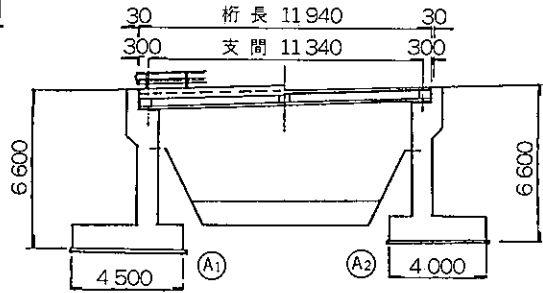
「ヘキサロック工法」により連続舗装となっている。



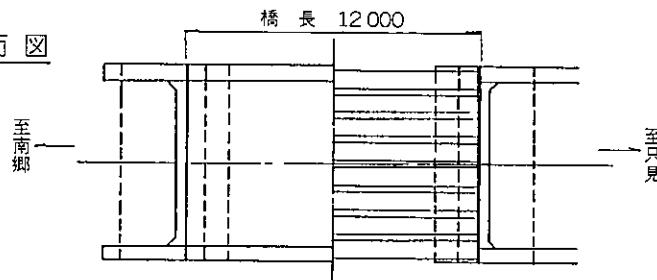
スライディングシート (Asシート) の上に、ヘキサパネルを敷設。

旧橋は昭和25年架設のコンクリート橋であるが、全幅4mで幅員が狭く線形も悪いため、昭和58年度より県単橋梁整備として工事に着手した。橋梁の伸縮継手部に「ヘキサロック工法」を採用し、連続舗装とした。走行条件は良好であり、車輛通過時の衝撃・振動・騒音も無くなり、伸縮装置周辺におけるトラブルを解決する工法として注目される。

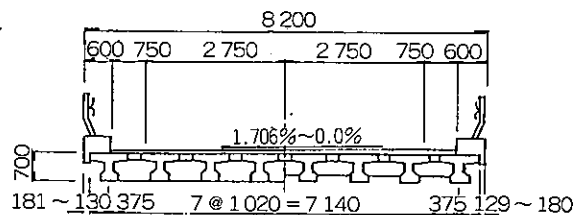
側面図



平面図



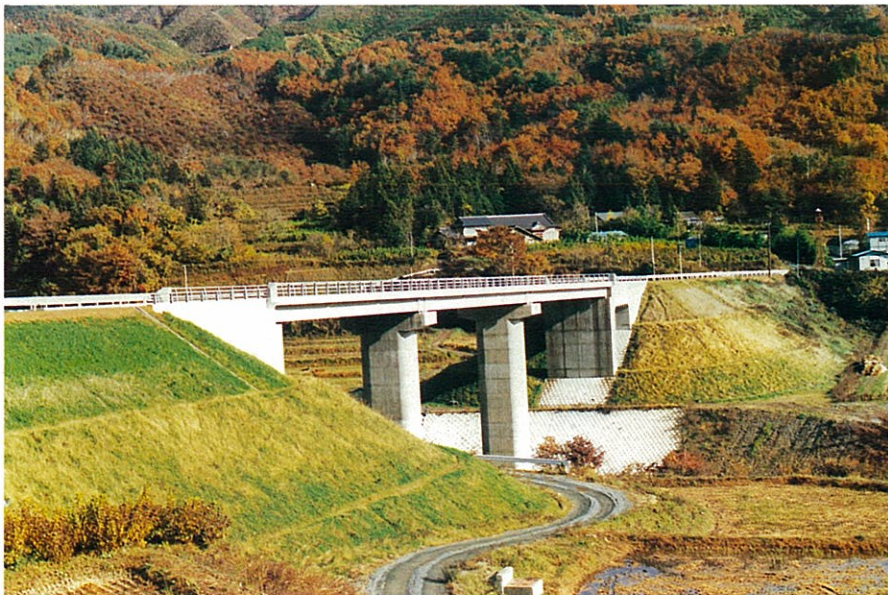
断面図



道路種別	⊖	路線名	小林館ノ川線		総鋼重	
位置	起点側	南会津郡只見町大字小川			塗装種類	
	終点側	南会津郡只見町大字小川				
河川名	普通河川大金沢川(阿賀川支川)		河川流量	40 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	12.000m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	11.440m				橋脚工	
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 0.75+2.75+2.75+0.75=7.00m				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋(TL-20)				特記事項	総事業費 45.4百万円



21 わた 渡 戸 橋 (単純P CポステンT桁)



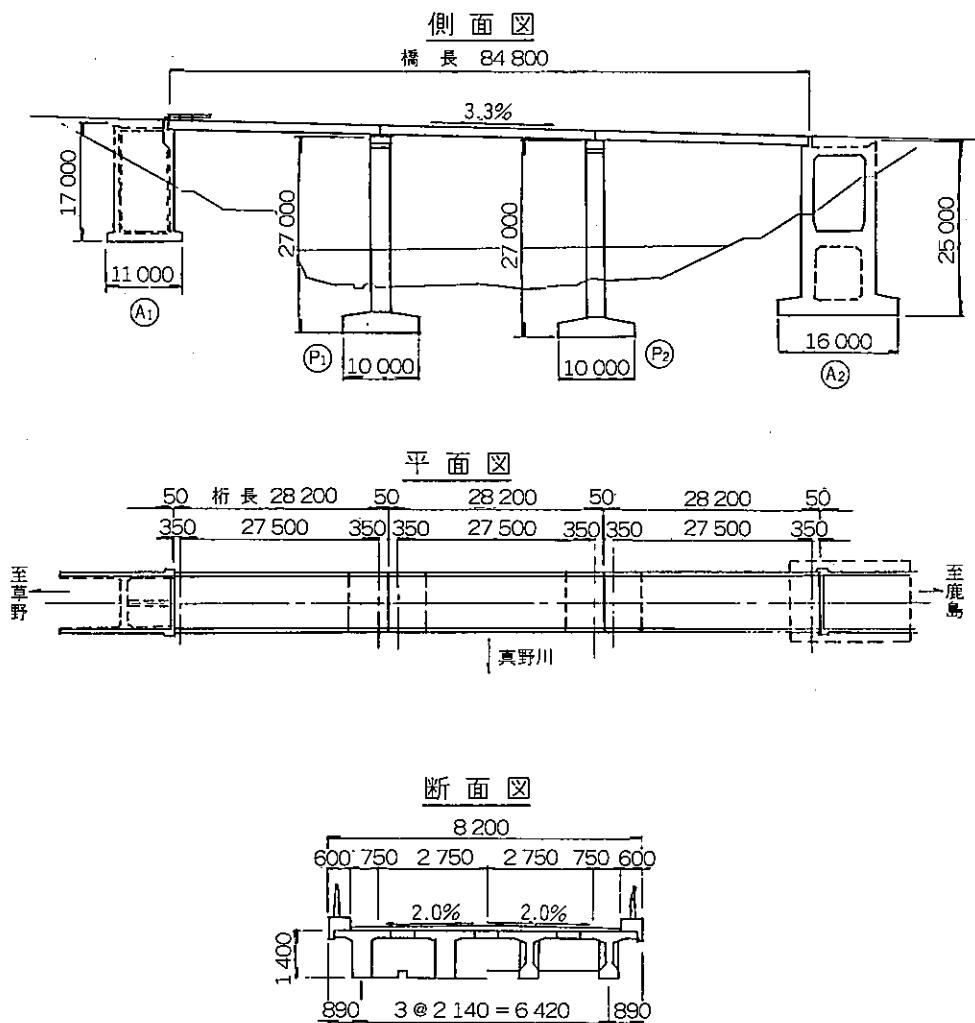
秋の紅葉が美しい山々を背に、湛水面に映えるであろう渡戸橋。



3径間の標準的のスパン割りを有する新橋。



真野ダム建設に伴う一般県道草野大倉鹿島線の付替計画（延長5,480m）に従い、昭和57年度にダムとの合併事業として工事に着手した。真野ダム湛水湖の最上流部に位置する新橋は、橋台（A<sub>2</sub>）高さが25mを有する2層ラーメン構造形式をもつ県内でもまれな橋である。



道路種別	⊖	路線名	草野大倉鹿島線		総鋼重	
位置	起点側	相馬郡飯館村大倉			塗装種類	
	終点側	相馬郡飯館村大倉				
ダム名	真野ダム		河川流量	m <sup>3</sup> /sec	架設工法	架設術工法
橋長	84,800m				橋台工	A <sub>1</sub> :鉄筋コンクリート箱式 A <sub>2</sub> :鉄筋コンクリート二層ラーメン
支間割	3@ 27,500m				橋脚工	鉄筋コンクリート壁式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 0.75+2.75+2.75+0.75=7.00m				基礎工	真接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 237.8百万円 (道路費 51.8百万円) ダム費 186.0百万円

22

くろ  
黒

たき  
滝

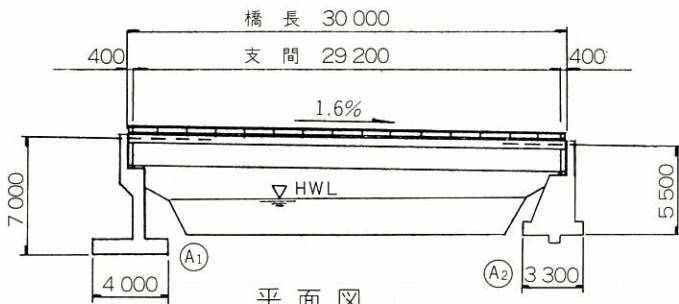
橋

(単純合成鋼鈹桁)

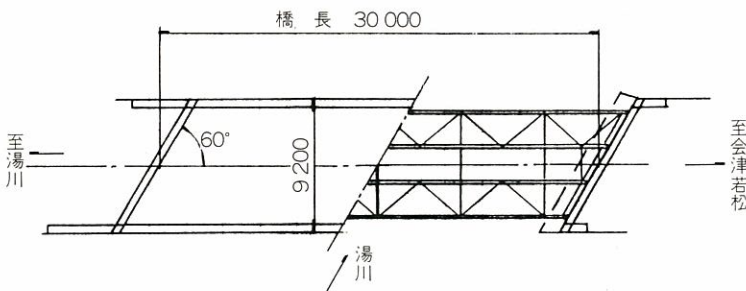


県単改良関連として昭和58年度より県単橋りょう整備として工事に着手した。

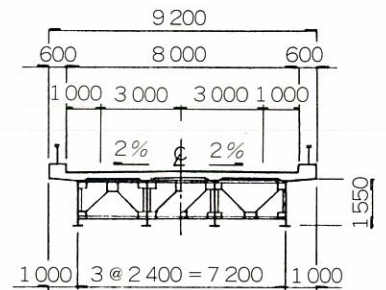
側面図



平面図



断面図



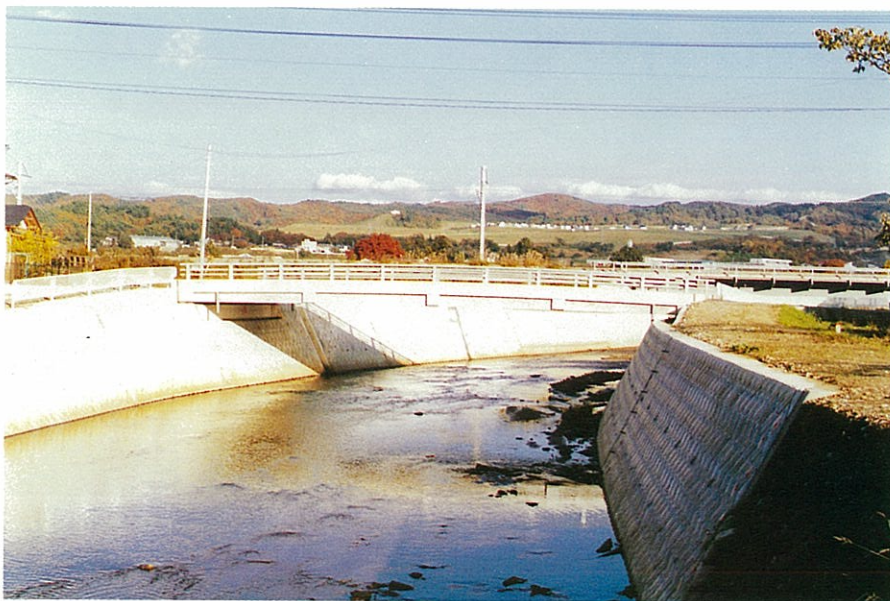
道路種別	⊖	路線名	湯川大町		総鋼重	44.9t	
位置	起点側	会津若松市東山町大字湯川			塗装種類	Ⓐ エッチングプライマー	Ⓔ 長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	会津若松市東山町大字湯川				Ⓕ 鉛糸さび止ペイント	Ⓖ 超長油性フタル酸樹脂塗料
河川名	1級河川	湯川(阿賀川支川)	河川流量	170 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車によるステージング工法	
橋長	30.00m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式	
支間割	29.20m				橋脚工		
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 8.0m				基礎工	直接基礎	
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 85.3百万円	

23

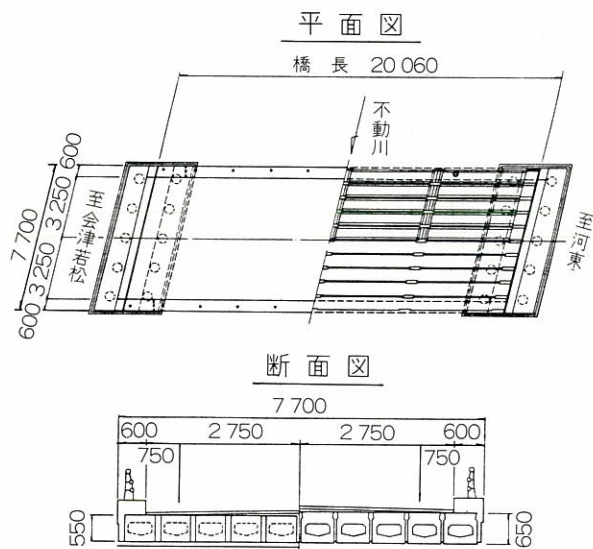
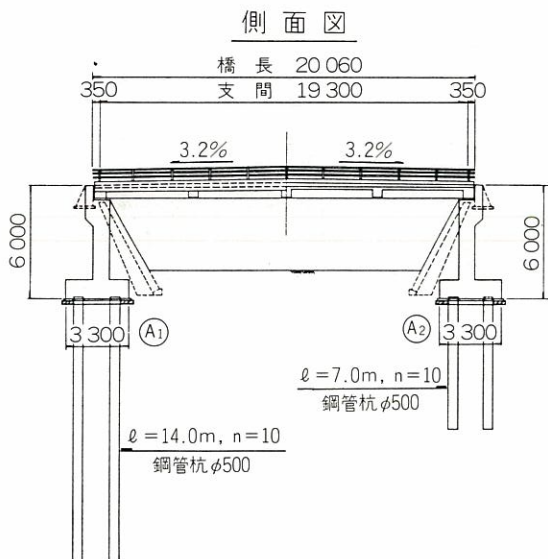
なか  
中ぬま  
沼

橋

(単純PCプレテンホロー桁)



河川改良工事に伴い、河川事業単独により架替えられた中沼橋



道路種別	⊖	路線名	北山会津若松		総鋼重	
位置	起点側	河沼郡河東町大字倉橋			塗装種類	
	終点側	会津若松市高野町大字中沼				
河川名	1級河川 不動川(阿賀川支川)		河川流量	205 $\text{m}^3/\text{sec}$	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	20.06m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	19.30m				橋脚工	
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 0.50+2.75+2.75+0.50=6.50m				基礎工	杭基礎(鋼管杭 $\phi 500$ )
橋格	1等橋(TL-20)				特記事項	総事業費 42.2百万円(河川費)



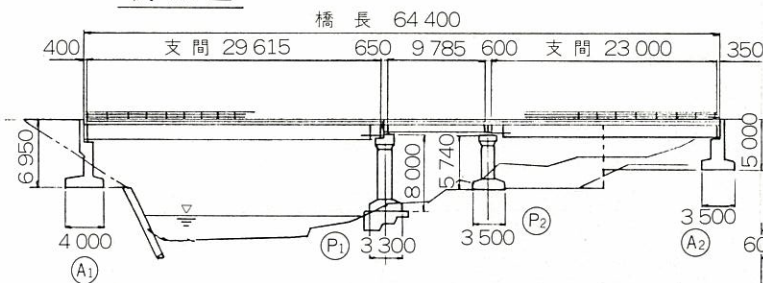




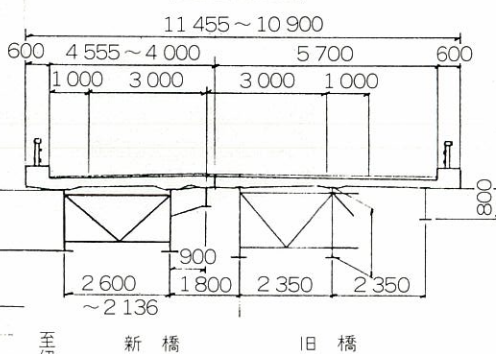


旧橋は、昭和36年架設の鋼鈹桁橋であったが、幅員が狭いため、縦目地を入れ拡幅。さらに継足部は片棧橋形式で処理した。昭和57年度より国道橋りょう整備にて対応した。

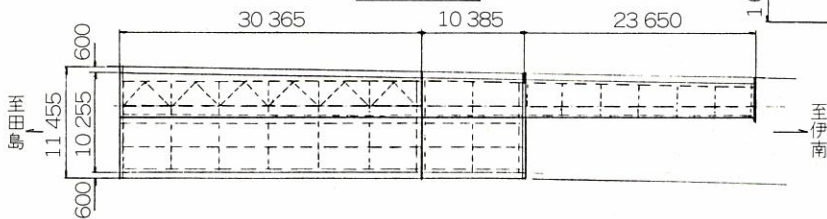
側面図



断面図



平面図



道路種別	国	路線名	国道352号	総鋼重	58.2t	
位置	起点側	南会津郡館岩村八総		塗装種類	Ⓐ エッチングプライマー	Ⓔ 長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	南会津郡館岩村八総			Ⓛ 鉛糸さび止めペイント	
河川名	準用河川	番屋川	河川流量	架設工法	トラッククレーンによるステージング工法	
橋長	64.400m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	30.265+10.385+23.650				橋脚工	鉄筋コンクリート逆T式
幅員構成	路肩 車道 車道 路肩 全幅 1.0+ 3.0+ 3.0+ 1.0= 8.0				基礎工	直接基礎
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 120.6百万円

26

# 湯ノ作橋 (Boxカルバート)



市道を跨ぐ大規模なBoxカルバート。改良事業として昭和59年度工事に着手。



RC杭を施工後、射体を打上げていく現場

道路種別	国	路線名	国道289号		総鋼重	
位置	起点側	いわき市勿来町大高			塗装種類	
	終点側	いわき市勿来町大高				
河川名		河川流量	m <sup>3</sup> /sec		架設工法	
橋長	9.00m				橋台工	
支間割					橋脚工	
幅員構成	歩道 路肩 車道 中央帯 車道 路肩 歩道 全幅 4.5+0.5+6.5+ 2.0 +6.5+0.5+4.5=25.0m				基礎工	杭基礎 (RC杭φ450、ℓ=7.50m)
橋格	1等橋 (TL-20)				特記事項	総事業費 111.4百万円

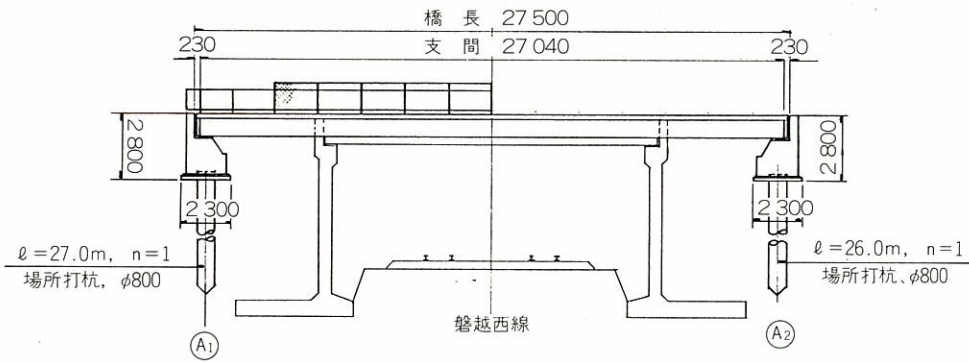


ちよだ  
**27 千代田こ線橋** (単純非合成H鋼桁)

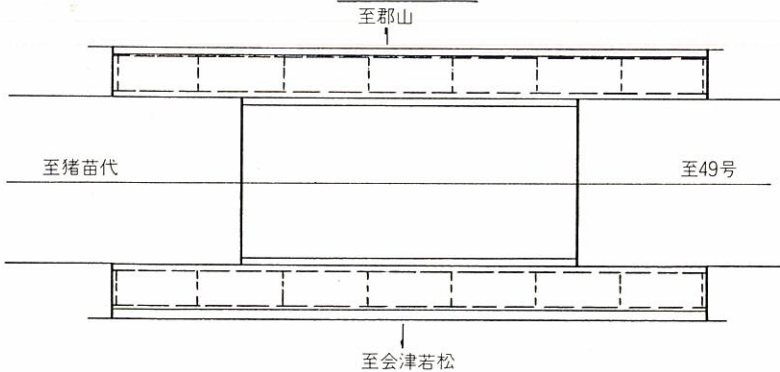


交安1種事業として、交通の安全確保のため昭和59年度に工事に着手。

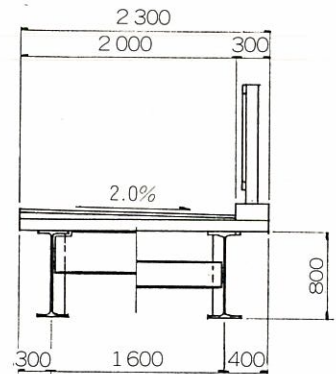
側面図



平面図



断面図



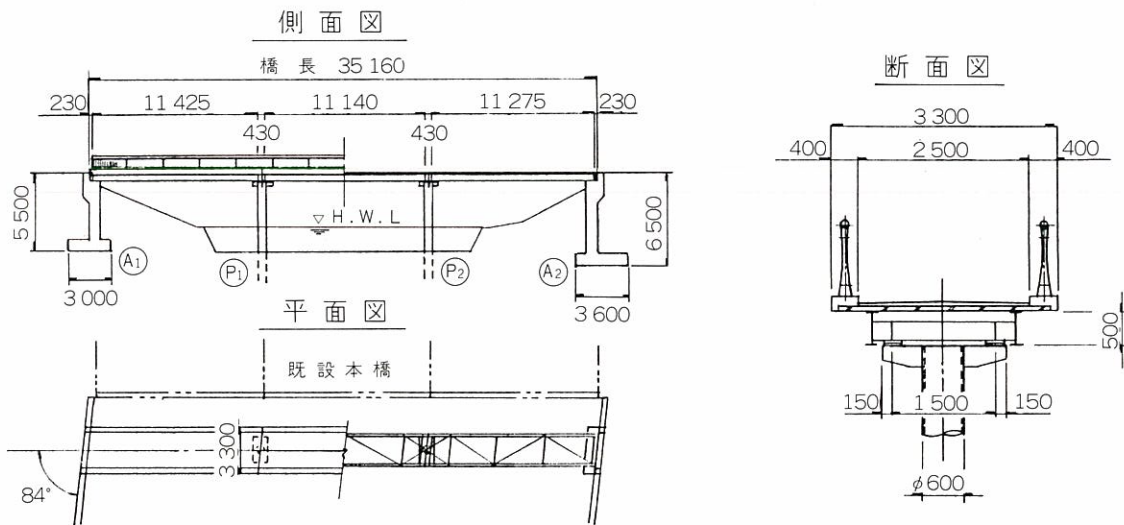
道路種別	国	路線名	国道115号	総鋼重	26.3t
位置	起点側	耶麻郡猪苗代町大字千代田		塗装種類	㊸エッチングプライマー ㊹鉛糸さび止めペイント ㊺超長油性フタル酸樹脂塗料 ㊻長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	耶麻郡猪苗代町大字千代田			
鉄道名	磐越西線		河川流量	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	27.500m			橋台工	コンクリート重力式
支間割	27.040m			橋脚工	自走クレーン車工法
幅員構成	歩道 2.0m			基礎工	場所打コンクリート杭φ800
橋格	歩道橋			特記事項	総事業費 48.0百万円



せせらぎ がわ 28 瀬 川 橋 (単純非合成H鋼桁)



交通量の増加により、歩行者、自転車の安全確保のため、交安1種事業に昭和58年度より対応した。



道路種別	㊦	路線名	会津坂下河東		総鋼重	8,957t
位置	起点側	河沼郡湯川村大字桜町			塗装種類	㊸エッチングプライマー ㊹鉛糸さび止めペイント ㊺超長油性フタル酸樹脂塗料 ㊻長油性フタル酸樹脂塗料
	終点側	河沼郡河東町大字谷沢				
河川名	1級河川	瀬川(阿賀川支川)	河川流量	420 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	35.160m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	11.425+11.140+11.275m				橋脚工	鋼管(φ600)
幅員構成	歩道 全幅 2.5m				基礎工	橋台：直接基礎、橋脚：鋼管杭基礎(φ600)
橋格	T荷重 0.5t、L荷重 0.35t/m <sup>2</sup>				特記事項	総事業費 15.0百万円

29

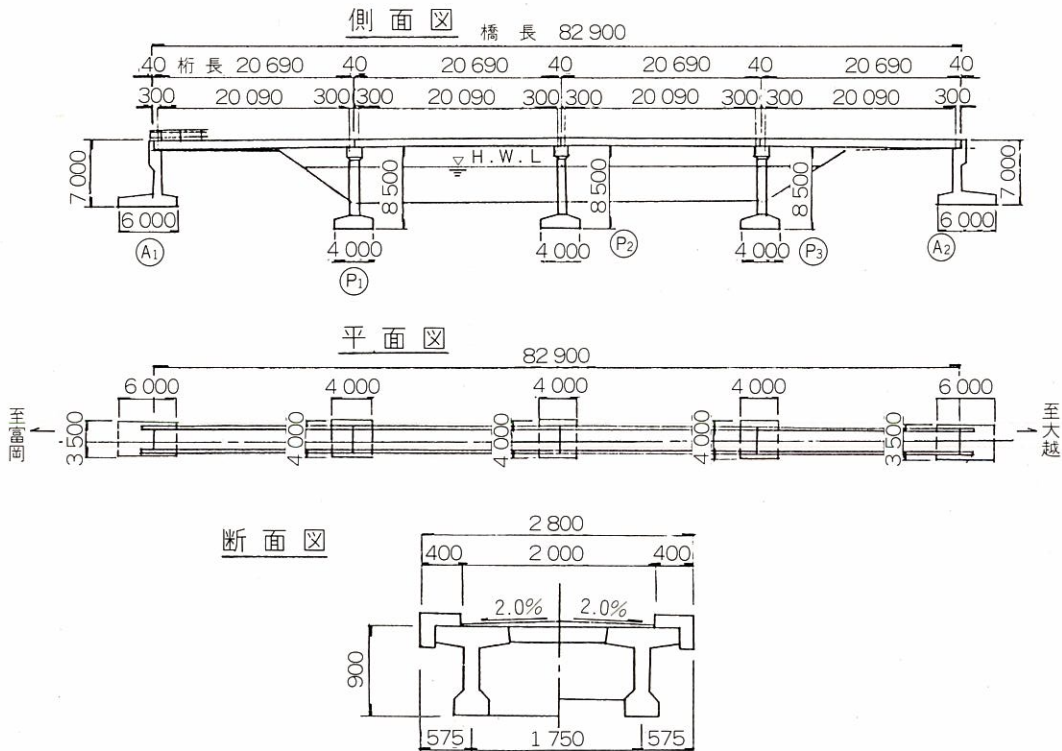
もん  
門

くち  
口

橋 (単純PCプレテンT桁)



交通の安全確保のため、交安1種事業として昭和58年度より工事に着手した。



道路種別	⊖	路線名	富岡大越線		総鋼重	
位置	起点側	双葉郡富岡町大字本岡			塗装種類	
	終点側	双葉郡富岡町大字本岡				
河川名	2級河川 富岡川		河川流量	740 m <sup>3</sup> /sec	架設工法	自走クレーン車工法
橋長	82.900m				橋台工	鉄筋コンクリート逆T式
支間割	20.690+20.660+20.660+20.690m				橋脚工	鉄筋コンクリート壁式
幅員構成	歩道 全幅 2.0=2.0m				基礎工	直接基礎
橋格	T荷重 0.5t、L荷重 0.35t/m <sup>2</sup>				特記事項	総事業費 56.5百万円

## 2. 県内橋りょうの概要

本県の総橋数は3,918橋で全国第4位であり、老朽橋はそのうち534橋あり全体の13.6%を占めている。木橋の解消は現在計画的に進められているが、交通不能区間を除いては、加藤谷川橋（南会津郡田島町）の1橋である。また、橋の総延長は69.2kmとなり、福島と矢吹を結ぶ長さに匹敵する。

### (1) 橋数内訳

	一般国道			地方道									合計	
				地方道計			主要地方道			一般県道				
	小計	長大橋	中小橋	小計	長大橋	中小橋	小計	長大橋	中小橋	小計	長大橋	中小橋		
全体橋数	993	49	944	2,925	84	2,841	1,224	28	1,196	1,701	56	1,645	3,918	
内	永久橋	993	49	944	2,897	83	2,814	1,221	28	1,193	1,676	55	1,621	3,890
	(うち老朽橋)	142	3	139	392	10	382	177	7	170	215	3	212	534
訳	木橋	0	0	0	28	1	27	3	0	3	25	1	24	28

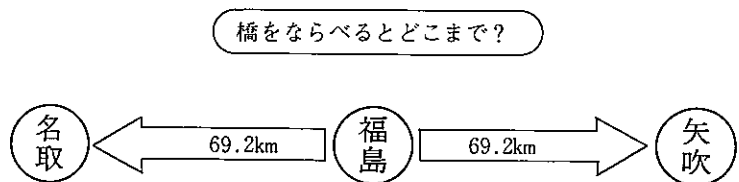
(昭和60年4月1日)

(注1) 「老朽橋」とは

- 1) 国道：架設年次が昭和25年以前の橋梁および要耐震橋梁。
- 2) 地方道：架設年次が昭和16年以前の橋梁および要耐震橋梁。

### (2) 橋の総延長

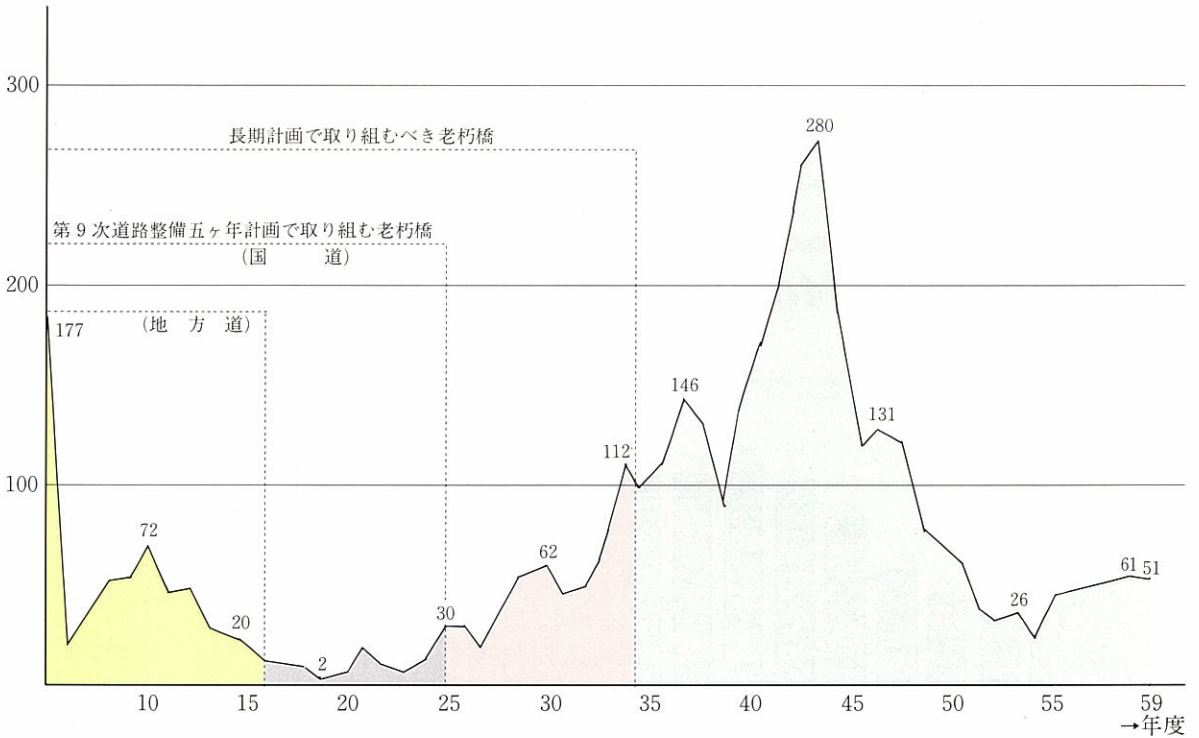
	橋数	延長
一般国道	993	21.6km
地方道	2,925	47.6
計	3,918	69.2





### (3) 年度別架設橋梁数

昭和59年4月1日



本県の総橋数を架設年度別に示したものであるが、昭和44年度を頂点とする山は木橋解消を重点に推進した時期である。現在推進している老朽橋解消は、昭和10年度を頂点とする山の解消を目標としている。

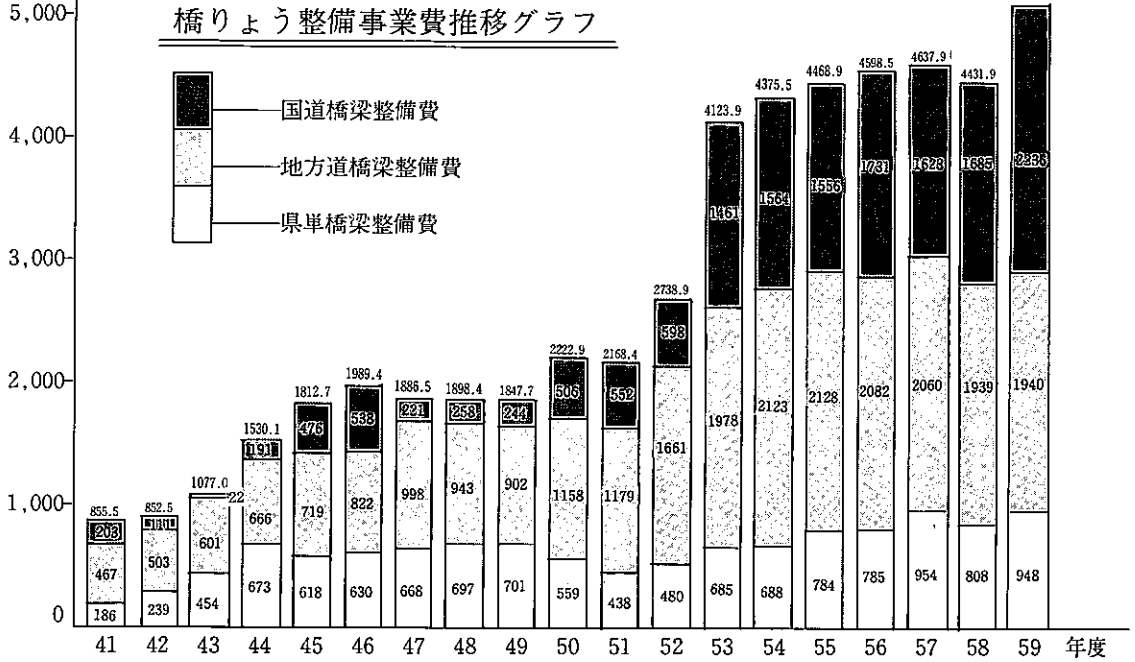
### (4) 橋長ベスト10

順位	橋名	路線名	市町村	全長(m)	管理者
1	油井高架橋	国道4号	安達町	801.3	建設省
2	蟹川橋	県道会津若松・三島線	会津若松市・北会津村	574.6	県
3	高田橋	県道会津若松・南郷線	会津若松市	514.6	〃
4	鮫川大橋	国道6号線	いわき市	471.0	建設省
5	あづま陸橋	県道福島・吾妻・裏磐梯線	福島市	450.0	県
6	大川橋	県道桑原停車場線	会津若松市・下郷町	425.0	〃
7	鮫川橋	県道常磐・勿来線	いわき市	400.0	〃
8	梁川橋	国道349線	梁川町	372.7	〃
9	会青橋	県道喜多方・会津坂下線	塩川町・会津坂下町	348.5	〃
10	安達ヶ橋	県道山木屋・二本松線	二本松市・安達町	341.9	〃

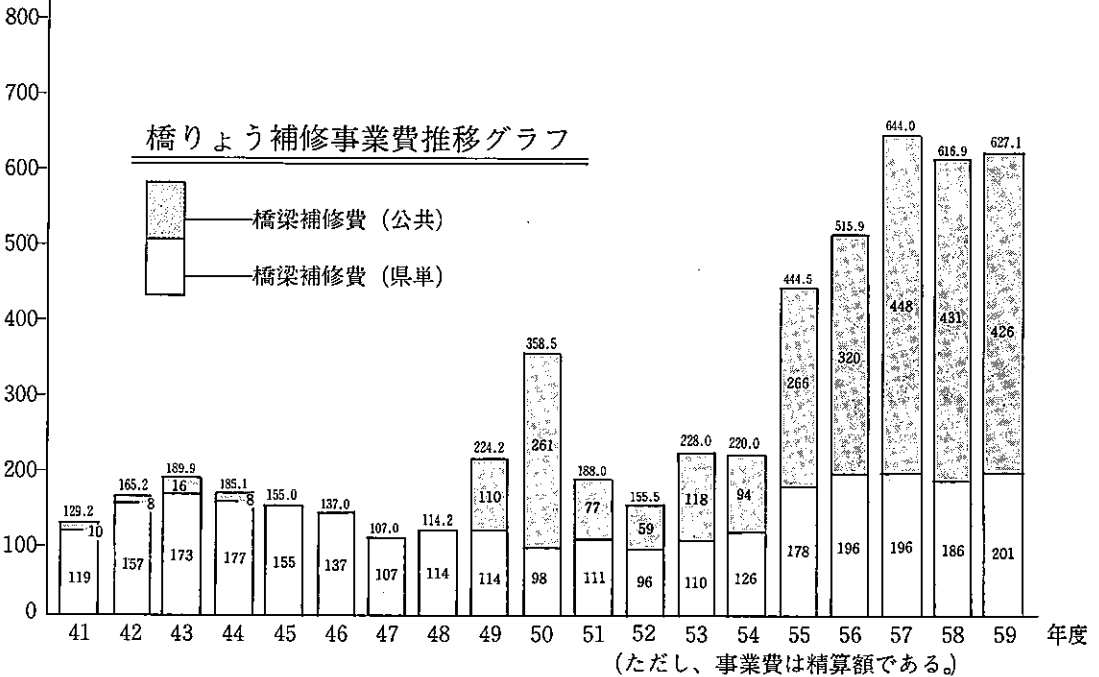
長大橋とは、橋長100m以上の橋梁である。

# る。 橋梁事業予算の推移

事業費  
(単位：)  
百万円)

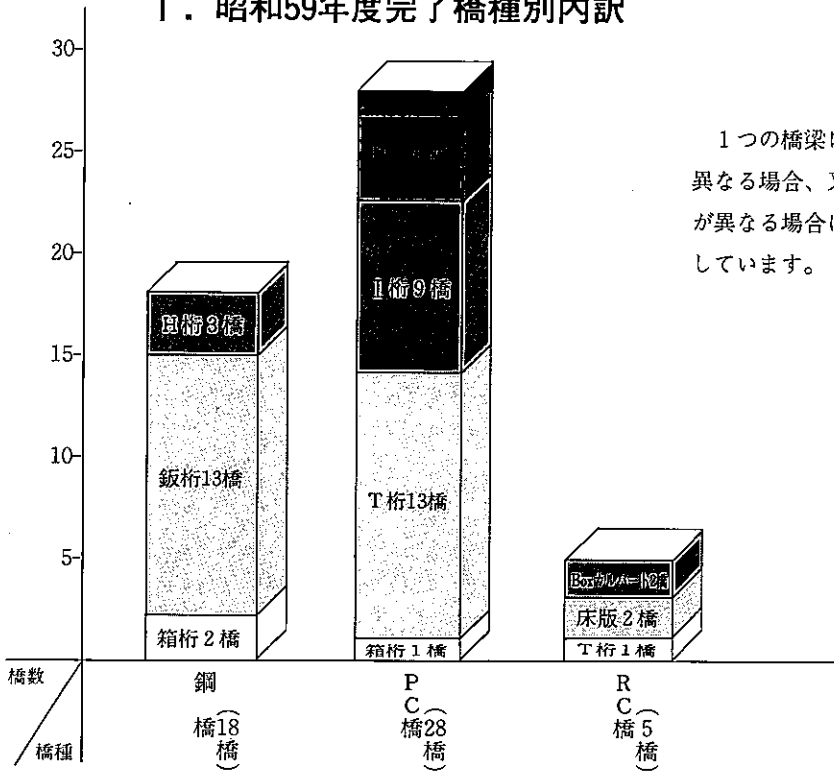


事業費  
(単位：)  
百万円)

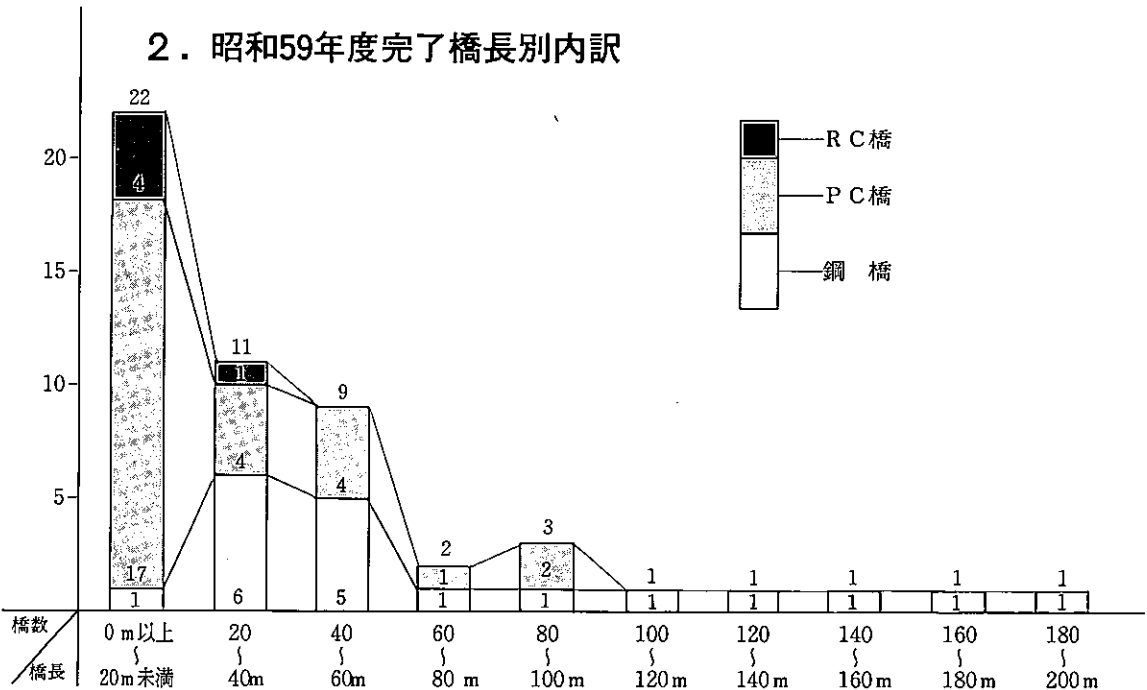


# 4. 昭和59年度完成橋梁一覽表

## 1. 昭和59年度完了橋種別内訳



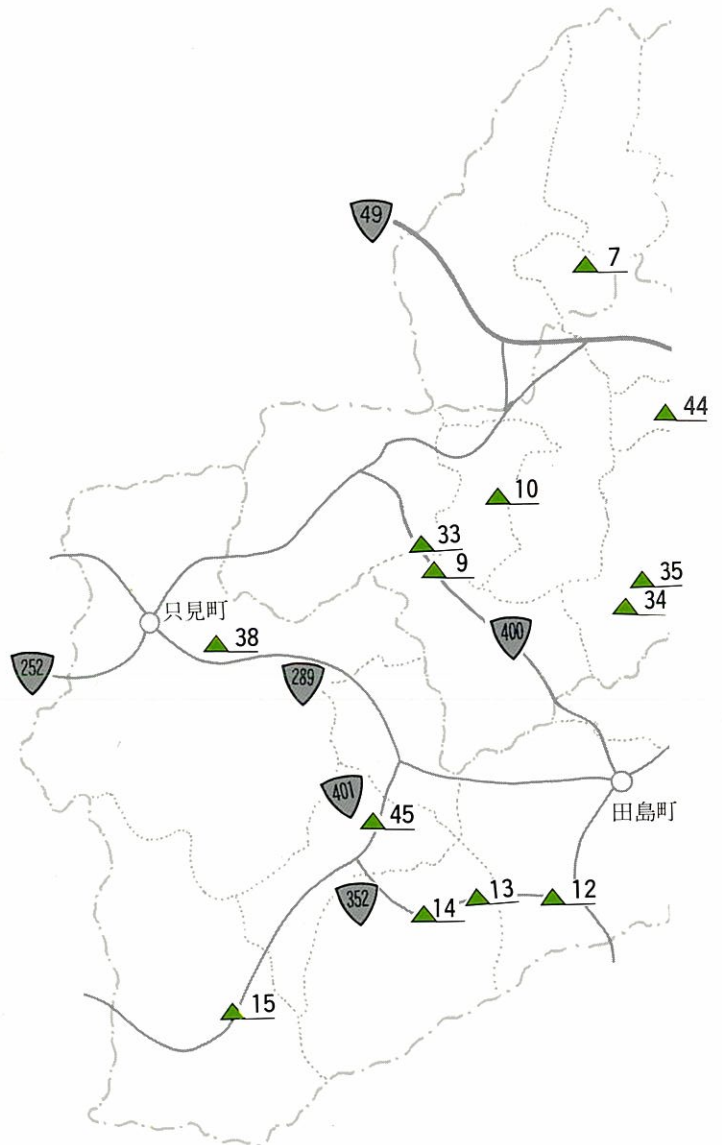
## 2. 昭和59年度完了橋長別内訳





### 3. 昭和59年度完了橋梁位置図

橋名	路線名
1 日の出橋	㊦ 浪江国見線
2 昭代橋	㊦ 本宮岩代線
3 勢至堂大橋	国道 294 号
5 万才橋	㊦ 矢吹天栄線
6 白子橋	㊦ 黒磯棚倉線
7 西海枝4号橋	㊦ 喜多方西会津線
8 吉志田大橋	㊦ 日中喜多方線
9 綱木橋	国道 400 号
10 箱淵橋	㊦ 落合豊成線
11 黒滝橋	㊦ 湯川大町線
13 番屋橋	国道 352 号
14 戸中橋	国道 352 号
16 八幡橋	㊦ 落合豊成線
17 下田橋	㊦ 川俣安達線
19 遠北こ線橋	㊦ 二本松安達線
20 軽井沢橋	㊦ 浪江三春線
25 堀之内橋	㊦ 荒井郡山線
31 高橋橋	㊦ 翁島俣磐根線
32 馬橋	国道 121 号
33 小綱木橋	国道 400 号
34 落合橋	㊦ 会津若松南郷線
37 中沼橋	㊦ 北山会津若松線
38 大金沢橋	㊦ 小林館ノ川線
39 飯樋橋	国道 399 号
42 渡戸橋	㊦ 草野大倉鹿島線
47 湯ノ作橋	国道 289 号
48 千代田こ線橋	国道 115 号
49 溷川橋	㊦ 会津坂下河東線
51 門口橋	㊦ 富岡大越線





## 4. 昭和59年度完了橋りょう一覧表

### (1) 道路橋

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (鉄道名) (ダム名)	橋長 (m)	幅員 (m)
<b>鋼 橋</b>							
1	ひの <sup>で</sup> 出橋	福島	⊕ 浪江国見	保原町	ひがし <sup>お</sup> 根川	41.0	6.0 10.0
2	しょう <sup>だい</sup> 昭代橋	〃	⊖ 本宮岩代	本宮町	あ <sup>ぶ</sup> 武隈川	172.20	6.5 12.5
3	せい <sup>し</sup> 勢至堂 <sup>おお</sup> 大橋	郡山	国道294号	長沼町	え <sup>は</sup> 江花川	87.0	6.0 8.0
4	たま <sup>が</sup> 玉川橋	〃	⊖ 千五沢矢吹	玉川村	いづ <sup>み</sup> 泉郷川	16.66	5.6 6.8
5	まん <sup>ざい</sup> 方才橋	白河	⊕ 矢吹天栄	矢吹町 大信村	い <sup>は</sup> 隈 <sup>う</sup> 声川	59.3	6.0 10.0
6	しら <sup>こ</sup> 白子橋	〃	⊕ 黒磯棚倉	棚倉町	しろ <sup>こ</sup> 子川	50.7	6.0 8.0
7	さい <sup>か</sup> 西 <sup>じ</sup> 海枝4号橋	喜多方	⊕ 喜多方西会津	高郷村	—	42.478	5.5 9.25
8	よし <sup>し</sup> 吉志 <sup>だ</sup> 田橋	〃	⊖ 日中喜多方	喜多方市	す <sup>き</sup> 挿 <sup>き</sup> 切川	123.35	6.0 9.75
9	つな <sup>き</sup> 綱木橋	会津若松	国道400号	昭和村	の <sup>り</sup> 野 <sup>い</sup> 尻川	107.874	6.0 8.0
10	はこ <sup>ぶ</sup> 箱淵橋	〃	⊖ 小林会津宮下(傍)	三島町	た <sup>か</sup> 大 <sup>た</sup> 答川	37.00	6.0 8.0
11	くろ <sup>た</sup> 黒滝橋	〃	⊖ 湯川大町	会津若松市	ゆ <sup>た</sup> 湯川	30.00	6.0 8.0
12	むかい <sup>た</sup> 向滝橋	田島	国道352号	田島町	あ <sup>ら</sup> 荒 <sup>う</sup> 海川	37.80	6.0 10.0
13	ばん <sup>や</sup> 番屋 <sup>(拡幅)</sup> 橋	〃	国道352号	館岩村	あ <sup>ら</sup> 番 <sup>や</sup> 屋川	64.40	6.0 8.0
14	と <sup>ちゅう</sup> 戸中橋	〃	〃	〃	あ <sup>ら</sup> 館 <sup>い</sup> 岩川	48.50	6.0 10.0
15	ほそ <sup>き</sup> 細木 <sup>(拡幅)</sup> 橋	〃	〃	桧枝岐村	い <sup>な</sup> 伊 <sup>な</sup> 南川	39.20	6.0 8.0
16	はち <sup>まん</sup> 八幡橋	〃	〃	下郷町	あ <sup>ら</sup> 阿 <sup>が</sup> 賀川	148.50	6.0 9.75



支 間 割	上 部 工 形 式	鋼 重 桁本数	事 業 名	施 工 会 社
2@19.955	単純合成H鋼桁	71.4 t	地方道橋りょう整備	東 開 工 業 (株)
2@42.55 + 2 @43.05	4 径間連続非合成鋼板桁	476.9 t	〃	松 尾 橋 梁 (株) 石川島播磨重工業(株)
26.20+33.80+26.20	3 径間連続非合成鋼板桁	133.0 t	国道橋りょう整備	東 日 本 鉄 工 (株)
16.20	単純合成板桁	12.1 t	県単橋りょう整備	東 開 工 業 (株)
36.75+21.30	単純合成H鋼桁 +単純合成鋼板桁	115.5 t	地方道橋りょう整備	協 三 工 業 (株)
22.30+26.90	単純合成鋼板桁	67.4 t	〃	矢 田 工 業 (株)
41.47	(片栈橋) 単純合成鋼箱桁	48.5 t	地方道特改1種	(株) 巴 組 鐵 工 所
27.90+28.30+ 27.95+37.50	3 径間連続非合成鋼板桁 +単純非合成鋼箱桁	241.6 t	地方道橋りょう整備	日 本 車 輛 製 造 (株)
2@35.700+ +35.574	3 径間連続非合成鋼箱桁	231.2 t	国道橋りょう整備	ト ピ ー 工 業 (株)
36.200	単純合成鋼板桁	62.9 t	地方道橋りょう整備	(株) 平 工 製 作 所
29.20	〃	44.9 t	県単橋りょう整備	東 開 工 業 (株)
36.80	〃	77.4 t	国道橋りょう整備	(株) 檜 崎 製 作 所
30.265+10.385+ 23.650	単純合成鋼板桁 +単純合成H鋼桁	58.2 t	国道橋りょう整備	東 開 工 業 (株)
35.25+11.80	単純合成鋼板桁 +単純合成H鋼桁	85.2 t	国道特改1種	矢 田 工 業 (株)
38.60	単純合成鋼板桁	15.1 t	県単橋りょう整備	〃
4@36.40	〃	275.0 t	地方道橋りょう整備	日 本 橋 梁 (株)

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 ( <small>鉄道名 ダム名</small> )	橋長 (m)	幅員 (m)
<b>P C 橋</b>							
17	しもだ田橋	福島	⊕川俣安達	福島市	水原川	41.00	6.0 / 10.0
18	おおぎ扇橋	〃	⊕丸森靈山	靈山町	とよや屋川	5.40	6.0 / 8.75
19	とのおまたこ線橋	〃	⊖二本松安達	安達町	東北本線	58.00	6.5 / 14.0
20	かるいざわ井沢橋	郡山	⊕浪江三春	船引町	つし移川	33.89	6.0 / 10.0
21	おのきりざわ斧切沢橋	〃	⊕須賀川田島	天栄村	おのきり沢	10.64	6.0 / 8.0
22	ぼばた畑橋	〃	⊖母畑白河	石川町	ほづ畑川	9.90	5.5 / 7.0
23	なりた田橋	〃	⊖郡山長沼	郡山市	あおきすかい水	13.30	6.5 / 11.75
24	かわだ田橋	〃	〃	〃	にしノ川	17.15	6.5 / 11.75
25	ほりのうち堀の内橋	〃	⊖荒井郡山	〃	ほづ畑川	40.0	6.0 / 12.0
26	かみはしぼ橋場橋	白河	国道349号	埴町	あさか川	13.45	6.0 / 8.0
27	くらした倉下橋	〃	⊖根岸埴	〃	あさか川	13.20	6.0 / 8.0
28	いけした池下橋	〃	⊖南湖公園	白河市	ほづの野川	11.30	6.0 / 16.0
29	いわゆみ岩弓橋	喜多方	国道115号	猪苗代町	あさか川	13.80	6.5 / 9.0
30	みちさかい道境橋	〃	⊖関都(停)金田	〃	あさか川	9.20	6.0 / 10.0
31	たかはし高橋	〃	⊖翁島(停)磐根	〃	あさか川	14.70	6.0 / 12.0
32	うま馬橋	〃	国道121号	会津若松市	あさか川	22.70	6.0 / 10.0
33	こつなき綱木橋	会津若松	国道400号	金山町	の野尻川	62.00	6.0 / 8.0
34	おちあいはし落合橋	〃	⊕会津若松南郷	会津高田町	あさか川	45.30	6.0 / 8.0
35	まつくら松倉橋	〃	〃	〃	まつくら川	18.90	6.0 / 8.0
36	かみおがわ上小川橋	〃	⊖大内会津高田	〃	ほづ川	16.65	6.0 / 8.0

支 間 割	上 部 工 形 式	鋼 重 桁本数	事 業 名	施 工 会 社
2@19.84	単純P C プレテン T 桁	22本	県単橋りょう整備	(株) 会 津 工 建 社
5.06	単純P C プレテン I 桁	24本	〃	〃
39.00+17.50	単純P C ポステン T 桁 単純P C プレテン T 桁	7本 15本	地方道踏切除却	ドーピー建設工業(株)
2@16.30	単純P C プレテン T 桁	22本	県単橋りょう整備	(株) 会 津 工 建 社
10.20	単純P C プレテン I 桁	27本	地 方 道 改 良	ドーピー建設工業(株)
9.20	〃	24本	県単橋りょう整備	東日本コンクリート(株)
12.76	単純P C プレテンホロー桁	16本	地 方 道 改 良	オリエンタルコンクリート(株)
16.482	〃	17本	〃	ドーピー建設工業(株)
2@19.34	単純P C プレテン T 桁	26本	県単橋りょう整備	(株) 会 津 工 建 社
12.90	単純P C プレテンホロー桁	14本	国 道 改 良	〃
12.90	単純P C プレテン I 桁	27本	県単橋りょう整備	〃
10.80	〃	50本	〃	常 磐 興 産 (株)
13.14	単純P C プレテン T 桁	10本	国 道 改 良	ドーピー建設工業(株)
8.74	単純P C プレテン I 桁	33本	県単橋りょう整備	〃
14.040	単純P C ポステン中空床版	1連	〃	(株) 会 津 工 建 社
21.94	単純P C プレテン T 桁	11本	中 小 河 川 改 良	〃
2@30.10	単純P C ポステン T 桁	10本	国道橋りょう整備	ピーシー橋梁(株)
44.20	単純P C ポステン箱桁	1連	地 方 道 改 良	(株) 会 津 工 建 社
18.22	単純P C プレテン T 桁	9本	〃	〃
16.00	〃	9本	県単橋りょう整備	〃



番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (鉄道名 ダム名)	橋長 (m)	幅員 (m)
37	中沼橋	会津若松	⊖北山会津若松	河東町 会津若松市	木動川	20.06	5.5 6.5
38	大金沢橋	田島	⊖小林館ノ川	只見町	笑釜沢	12.00	5.5 7.0
39	飯樋橋	原町	国道399号	飯館村	新田川	20.70	6.0 10.0
40	北沢橋	〃	⊕原町浪江	原町市	北沢	10.511	6.0 8.0
41	向原川橋	いわき	⊕いわき浪江	いわき市	向原川	7.34	6.0 12.0
42	わた戸橋	真野ダム	⊖草野大倉鹿島	飯館村	草野川	84.80	5.5 7.0
R C 橋							
43	久根内橋	福島	⊕二本松浪江	岩代町	富井川	3.88	5.5 7.0
44	中田橋	会津若松	⊕会津坂下会津高田	新鶴村	—	4.80	6.0 9.5
45	下の沢橋	田島	⊖大倉大橋浜野	伊南村	下の沢	4.04	5.5 7.0
46	おろ谷橋	原町	⊕浪江三春	葛尾村	おろ谷地川	13.58	5.5 7.0
47	湯ノ作橋	いわき	国道289号	いわき市	市道	9.00	13.0 25.0

支間割	上部工形式	鋼重 桁本数	事業名	施工会社
19.30	単純PCプレテンホロー桁	10本	小規模河川改良	ドービー建設工業(株)
11.44	単純PCプレテンT桁	8本	県単橋りょう整備	(株)会津工建社
20.04	〃	11本	〃	〃
10.05	単純PCプレテンI桁	27本	地方道特改I種	常磐興産(株)
7.00	〃	38本	地方道踏切除却	〃
3@27.50	単純PCポステンT桁	12本	地方道橋りょう整備	(株)会津工建社
3.48	RC床版		県単橋りょう整備	(有)本多建設
	Boxカルバート		県単道路改良	酒井建設工業(株)
3.60	RC床版		〃	(有)伊南建設工業
13.03	RCT桁(拡巾)	3本	県単橋りょう整備	横山建設工業(有)
	Boxカルバート		国道改良	呉羽建設(株)



支 間 割	上 部 工 形 式	鋼 重 桁本数	事 業 名	施 工 会 社
27.04	単純非合成H鋼桁	26.3 t	交 安 1 種	東 開 工 業 (株)
11.425+11.14 +11.275	単純非合成H鋼桁	9.0 t	〃	協 三 工 業 (株)
10.40	単純PCプレテンスラブ	8本	交 安 1 種	秋 山 建 設 (株)
20.69+20.66 +20.66+20.69	単純PCプレテンT桁	8本	〃	(株) 会 津 工 建 社



# 5. 橋梁の文化化

## (1) 東大橋の「文化化」について

### ●東大橋の「文化化」の内容

東大橋は、塩川町の市街地を通る国道121号の交通混雑の解消を目指して建設された同塩川バイパスに設けられたもので、56年度に着工し、60年10月16日に開通した。

橋長185.4mの同橋の歩道には、「春の譜」「夏の日」と題するブロンズ像を配した憩いの広場が2ヶ所設置され、四季折々に会津盆地の美しい風景を望むことができるようになっている。また、高欄には町の花「あやめ」のレリーフがはめこまれ、親柱には、穀倉地帯にふさわしい蔵が、照明灯には昔なつかしいガス灯がそれぞれデザイン化されており、橋を渡る人々の心をなごませている。

これらは、県単独事業「文化のための1パーセントシステム」を取り入れており、周囲の自然景観とマッチした美しい姿を見せている。



東大橋



「夏の日」



「春の譜」

憩いの広場のブロンズ像

## 東大橋の文化化概算工費

	通常施工 (補助採択分)	文化化による施工	単 独 費 (文化の1パーセント)
橋上広場 (憩いの広場)		床版の一部張出し (2箇所) 1,230,000円	(全 額) 1,230,000円
高 欄 (装飾スクリーン)		「あやめ」の花のレリーフ (10箇所) 1,976,000円	(全 額) 1,976,000円
照 明 灯	「ガス灯」風の照明 器具を除いた全部 (5箇所) 2,024,000円	「ガス灯」風の照 明灯 (5箇所) 4,000,000円	「ガス灯」風の照 明器具部分のみ (5箇所) 1,976,000円
歩 道 舗 装	細粒度アスコン 3cm 417㎡×1,300円/㎡ ≒542,000円	カラ-舗装(マロンアスコン)3cm 446㎡×4,200円/㎡ ≒1,873,000円	(差 額) 1,331,000円
親 柱	親柱の頂部装飾を 除いた全部 (4箇所) 1,681,000円	「蔵」のイメージ の親柱 (4箇所) 3,630,000円	親柱の頂部装飾部 分 (4箇所) 1,949,000円
ブロンズ像		橋上広場上のプロ ンズ像 (2箇所)	塩川町の占有物 0円
計	4,247,000円	12,709,000円	8,462,000円

東大橋全体工事費 707,120千円  
文化化に費した県単独費 8,462千円 は、橋梁全体工事費の約1.2%にあたる。



照明灯に照らされ、夜景に浮ぶロマンチックな新橋





高欄のレリーフ 町の花「あやめ」



「ガス灯」風の照明灯



盛大に行なわれた「開通式」



「蔵」のイメージの親柱

## ●東大橋の「文化化」の背景

### 昔から水陸交通の要地として栄えた塩川町

塩川町は会津盆地のほぼ中央に位置し、会津から耶麻郡の中核都市である喜多方市へ、そして大峠を経て、米沢・山形へ至る要路の入口にあたり、古くから会津地方の水陸交通の要地として栄えて来ました。

すでに慶長年間（1608）には、塩川の村役人であり、室町期以来のこの地の豪族であった七宮氏の後裔でもある栗村氏によって、若松と米沢を結ぶ「塩川通り」が開かれ、近代に至っての「三方道路」、今日の国道121号（宇都宮・米沢線）の萌芽がみられていました。以来会津地方と米沢を中心とする置賜地方との往来は頻繁をきわめ、塩川は米沢表街道の宿駅として、2世紀半におよぶ発展を遂げることとなったのであります。

一方この時期、すでに阿賀野川水運の開発が企図され、当時における日本海沿岸航路の発達とも相まって、敦賀・小浜（ともに今日の福井県の港町）から琵琶湖・淀川を経て大阪に至る水運ルートと結ばれていました。

この後、塩川は明治中後期岩越鉄道（現在の磐越西線）が開通するまでの間、まさに会津と全国とを結ぶ水陸交通の要衝として、重要な位置をしめて来たのです。この阿賀野川水運の開発を実現させたのも、塩川通りを開いた塩川の栗村氏の子孫で、栗村氏は「弾正が原」に眠る七宮弾正清政から始まります。

近世から近代にかけて、会津と京、大阪あるいは会津と江戸を結ぶこの水陸ルートは、物資の輸送・運搬にとどまらず、中央の文化や風俗、情報をもこの地にもたらし、会津地方の発展のために計り知れぬ役割を担って来ました。

さらに、今回架橋された地点は、まさにこの水陸要路の交わる所であり、歴史的・社会的に特別の意味をもつ位置に当ります。

### 自由民権運動ゆかりの地

ところで、会津戊辰戦争を経て明治期に入り、この地の様子は大きく変ることとなります。薩長に抗した東北諸藩、とくに会津は、賊軍の汚名を着せられ、薩長藩閥の明治新政府から抑圧され、苛酷な収奪政策が行われました。このため会津をはじめとする東北のほとんどの地域は、近代化からとり残され、明治以降現在に至るまで、日本の後進地域の地位に甘んじなければなりません。

いまようやく地方の時代が叫ばれ、後進性からの脱却をめざして、住民の自覚と逞ましい近代化への歩みがはじまろうとしています。

先述しましたように、弾正が原は塩川を中心とした水陸交通の要路を開き、この地の歴史的



経過のなかで、代々主要な役割を演じた栗村一族の祖先である、七宮弾正清政の墳墓の地であります。そしてこの地弾正が原は、寄しくも、明治新政府の抑圧・収奪政策に対する農民、民衆の低抗運動として展開された自由民権運動ゆかりの地でもあります。この点でも後世に語り継ぐべき、深い意義をもつものと考えます。

### 町民の憩いの場

現在、架橋地点附近の日橋川河川敷は、緑地公園として整備され、地域の人々の憩いの場として利用されており、流域の堤はサイクリングロードとして、鋭意整備されつつあるところがあります。また地元では、地域発展のために生命を賭した多くの先達や、かつて大塩川・日橋川のたび重なる氾濫で犠牲となった人々の霊をなぐさめるため、この流域で灯籠流しや花火大会を復活させるべく企画しております。

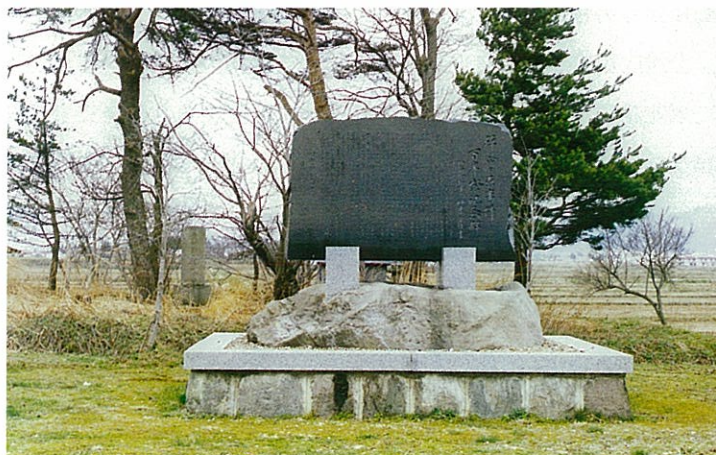
### 町のシンボルとなる東大橋

このような諸般の事情をふまえ、地域の人々に愛され、この地を訪れる人々から親しまれる、後世に残るシンボルとしての橋を架けるのが念願でした。

耶麻地方の真の近代化は、むしろこれから始まろうとしております。この地にとって、明治以降の近代とはいったい何であったのかを、立帰りつつ思い起し、未来を正しく拓くことが必要なのではないのでしょうか。

地域の歴史を映し流れる日橋川に架かるこの橋は、明治という近代の原点を思い起すシンボルであり、地域の人々の暮しの中に融けこむものでなければならぬと考えるものです。また地域の人々の夢と希望を託す橋でもあろうかと考えます。

最後に、自由民権運動の発祥の地となった張正ヶ原に立つ弾正ヶ原事件発生百周年を記念した碑文を照会する。



「弾正ヶ原事件百年発記念碑」

## 碑 文

この地弾正ヶ原は、自由民権運動の激化を示す「福島事件」惹起の端緒となった歴史上由緒ある所である。

明治15年2月、福島県令として着任した薩摩出身の三島通庸は、同年初夏以来会津地方に大土木工事を起した。彼は会津6郡の農民に封建時代の人民使役にも以た苛酷な条件で強制労役を命じた。6郡民は、会津自由党の指導による合法的反対運動を行ったが、三島県令は強圧手段に出て郡民の請願・訴訟等をすべて拒み、かえって6郡民を叱責・強迫し、労役に応じない農民の家財を押収して競売に処すなどの強硬策をとった。

耶麻郡・河沼郡の両郡は早くより民権運動の発祥した地域である。会津自由党は三島県令の弾圧に抵抗し、6郡農民の先頭に立って反対運動を展開した。官憲は自由党と反対農民の離間策をとり、自由党の指導者を別件逮捕して獄に投じ、郡衛・警察の総力を挙げて反対派を力で押し潰そうとした。

ここにおいて、両郡の農民千数百名は、明治15年11月28日の夕刻、ここ弾正ヶ原に集結して抗議の大集会を開いた。激昂した農民はそのまま隊伍を組んで喜多方警察署に押し寄せ逮捕者の釈放を強要した。世に「弾正ヶ原事件」あるいは「喜多方事件」と呼ばれるのがこれである。

この日から、三島県令は県下の自由党员および集会に参加した農民の一斉検挙をはじめ、その数千餘名におよんでいわゆる大疑獄「福島事件」に突入した。

ここに、事件発生百周年を記念し、町民挙げてこの碑を建立するものである。

## (2) 七入橋の「文化化」について

七入橋は、国道 352 号の南会津郡桧枝岐村七入地区の伊南川に架けられたもので、昭和56年度に着工し、60年11月15日に開通した。本橋は、福島県側から日光国立公園の尾瀬への入口に位置し、橋のたもとから登山道が始まるため、登山道の入口に休憩所と案内板を設置した。これらは、県単独事業「文化のための1パーセントシステム」を取り入れており、文化化に費した県単独費2,723 千円は橋梁全体費の約1.2%にあたる。



周辺の自然とマッチした休憩所



登山道の入口の設置した、わかりやすい案内板

# 6. 資 料

## (1) 耐候性鋼について

### ① 耐候性鋼とは

耐候性とは、広義には大気環境における耐食性、耐久性といった意味合いで使用されているが、耐候性という場合は、大気環境において錆の発生が少ない性質をもった鋼のことを指しており、この意味から Weathering steel とも呼ばれている。

耐候性鋼は普通鋼に若干の合金元素を添加した化学成分をもつ低合金鋼であり、ステンレス鋼などの高合金鋼のような耐食性を有しているわけではない。耐候性鋼が普通鋼に比べ4～8倍の耐候性をもっている理由は、大気中にさらされた初めの期間は普通鋼と同様に錆が発生するが、年月の経過と共にその錆の一部が徐々にきわめて緻密な母材に密着した錆になり、その錆層が環境に対し保護膜となり腐食進行を阻止するようになるからである。

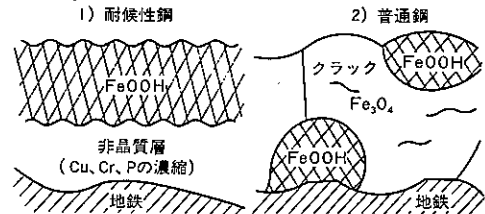
### ② 耐候性鋼の錆

耐候性鋼の耐候性は、この錆層の生成による保護的效果にあるわけだが、その錆はどのようにして生成されるのか、以下に述べると、

鋼が大気中に暴露されると大気中の酸素と水の作用により、 $Fe + \frac{1}{2}O_2 + H_2O \rightarrow Fe(OH)_2$

$2Fe(OH)_2 + \frac{1}{2}O_2 + H_2O \rightarrow 2Fe(OH)_3$ の反応が生じることはよく知られている。この点については耐候性鋼も普通鋼も同様である。耐候性鋼の場合、このように生成した初期赤錆が大気中で乾湿をくり返しているうちに、鋼の面に接した部分に青味をおびた層が形成されてきて数年のうちに表面を完全に覆うようになり、腐食はほとんど進行しなくなる。すなわち、この安定錆層は緻密であるため水や酸素の浸透を抑制し、後続の腐食反応をほぼ完全に阻止する能力をもっていることになる。CuやCr、Pなどを少量含む耐候性鋼には、なぜこのような錆ができるのか明確な説明がなされていないのが実情である。今まで得られている知見では、

- (1) 耐候性鋼の錆層は地鉄上に $FeOOH(Fe_2O_3 \cdot H_2O)$ がほとんどなく、 $FeOOH$ 層と地鉄間に非常に緻密な層が存在している。これに反し、普通鋼の錆層には、地鉄上 $FeOOH$ があり、かつ亀裂が多いこと。
- (2) 耐候性鋼の錆の下層に存在する緻密な層は、X線的に非晶質（結晶体でない）から成り立っている。
- (3) 耐候性鋼に含まれるCu、Cr、Pなどの有効元素がこの緻密な非晶質に濃縮されている。などから、錆層の構造は模式的に図1のように考えられる。



炭素鋼と耐候性鋼の生成錆の差はこの非晶質層の有無であり、このCu、Crなどを含む非晶質層のアノード反応の抑制効果が耐候性鋼の特長といえることができる。

### ③ ウェザーコート法とは

ウェザーコート法は、耐候性鋼の表面に化学的に錆安定化被膜を生成させることにより、裸使用の場合問題となる初期流出錆を抑えながら安定錆を生成させるさび安定化処理法で日本パーカライジング(株)によって開発された技術である。外観的には通常の塗装と似ているが、機能的には通常の塗膜が外気と鋼表面を遮断することによって発錆を抑えるのに対し、ウェザーコート法処理被膜はその面で錆化および錆の安定化をはかるという大きな違いがある。

したがって塗装を行った場合、塗膜が劣化すると剥離を生じ、その部分から流出錆が生じるので美観を維持するために再塗装を繰り返す必要があるが、ウェザーコート法の場合、被膜が徐々に消化されて安定錆におきかわり、自然に全面が安定錆でおおわれるようになるので保守の必要がない。



## (2) 県内の耐候性橋梁

耐候性鋼は、大気環境下において普通鋼と比較して腐食しにくい鋼である。耐候性鋼が腐食しにくいのは安定さびをつくり、それが保護被膜となって腐食の進行を抑制するためである。年月が経過するとともに腐食速度が遅くなり、5年程度経過すると腐食はほとんど進まなくなるといわれている。しかし、これも適正な環境下でしかも適正な使用条件のもとで暴露した場合に限っていえることである。耐候性鋼に安定さびができるためには次の条件が満足されなければならない。1) 鋼表面が大気に触れること。2) 適度な乾湿の繰返しを受けること。3) 海水飛沫がかからないこと。

県内においてもすでに4橋の実績があり、使用状況は下表のとおりである。なお、各橋において暴露試験とともに、安定さびの発生状況を定期的に調査を進めているところである。

### 耐候性鋼材の使用状況

橋名	路線	箇所	上部工型式	橋長	幅員	架設年度及び実施事業	使用材料及び鋼重	裸 or ウェザ-コート	環境条件		架設後の錆の発生状況	
									海岸との距離	最密化学工業距離		桁下高さ
あづま東橋	○飯豊郡山	方八町 郡山市駅前丁目	単純鋼床版桁 (跨線部)	65.6 (跨線部)	12.0/23.5	⑤⑨地方道橋りょう整備	SMA41A 883 t	ウェザ-コート	—	—	5.5m	錆の発生があまり見られず (錆化部が10%程度) プレパ レン表面処理の色のままであ る。
さんおう山王大橋	国 121 号	田島町大字赤沢	単純合成鉄桁連	119.35	6.5/8.5	⑤⑨国道橋りょう整備	SMA50A 162 t SMA41A	ウェザ-コート	—	—	20m	錆の発生が見られず、プレパ レン表面処理の色のままであ る。
せいどう勢至堂大橋	国 284 号	長沼町大字 勢至堂	3 径間連続鉄桁	87.0	6.0/8.0	⑤⑨国道橋りょう整備	SMA50A 133 t SMA41A	裸	—	—	26m	錆の色はうすい褐色であり、 全体的に粗い錆である。色む らが若干あり黄色錆などがで ている。錆安定化が進んでい る。
とう東開橋	国 289 号	下郷町大字 南倉沢	単純合成H鋼桁	18.46	5.5/7.0	⑥⑩県道橋りょう整備	SMA50A 26 t	裸	—	—	10m	錆の色は橙褐色であり、全体 的に粗い錆である。色むらが 若干ある。
ひなま永玉1号橋	○下郷本郷	本郷町大字永玉	単純合成H鋼桁	59.4	5.5/8.0	⑥⑩地方道橋りょう整備予定	SMA50A 95 t SMA41A	裸	—	—	12m	61年度架設予定

# 橋 (⊖飯豊郡山線)

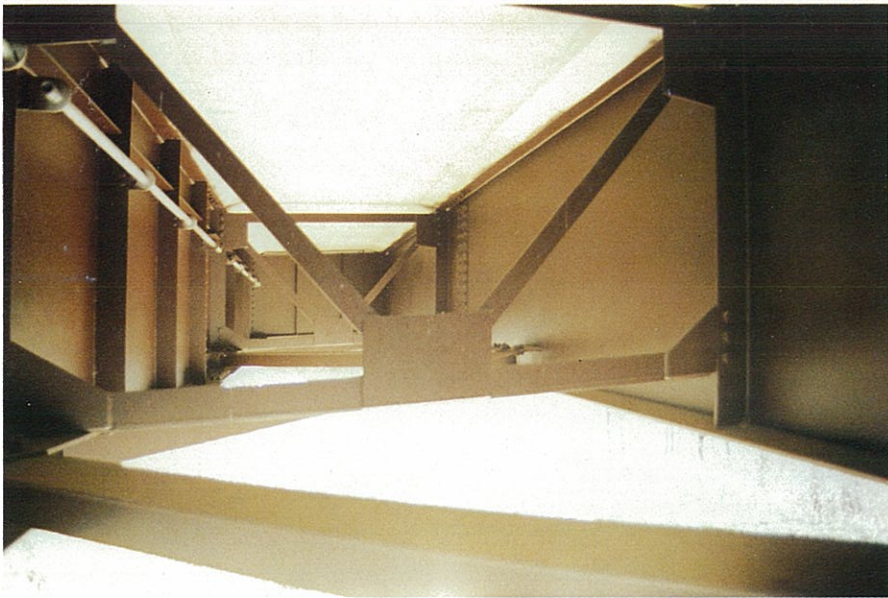
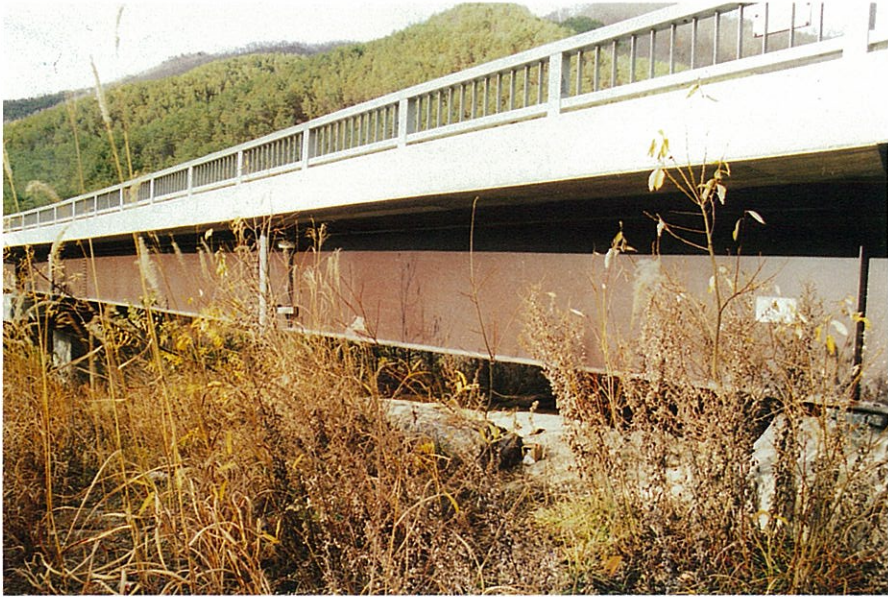
昭和53年架設 ウェザーコート使用



さんのうおお

# 山王大橋 (一般国道121号)

昭和54年架設 ウェザーコート使用





せいしどうおお  
勢至堂大橋 (一般国道294号)

昭和59年架設 裸使用





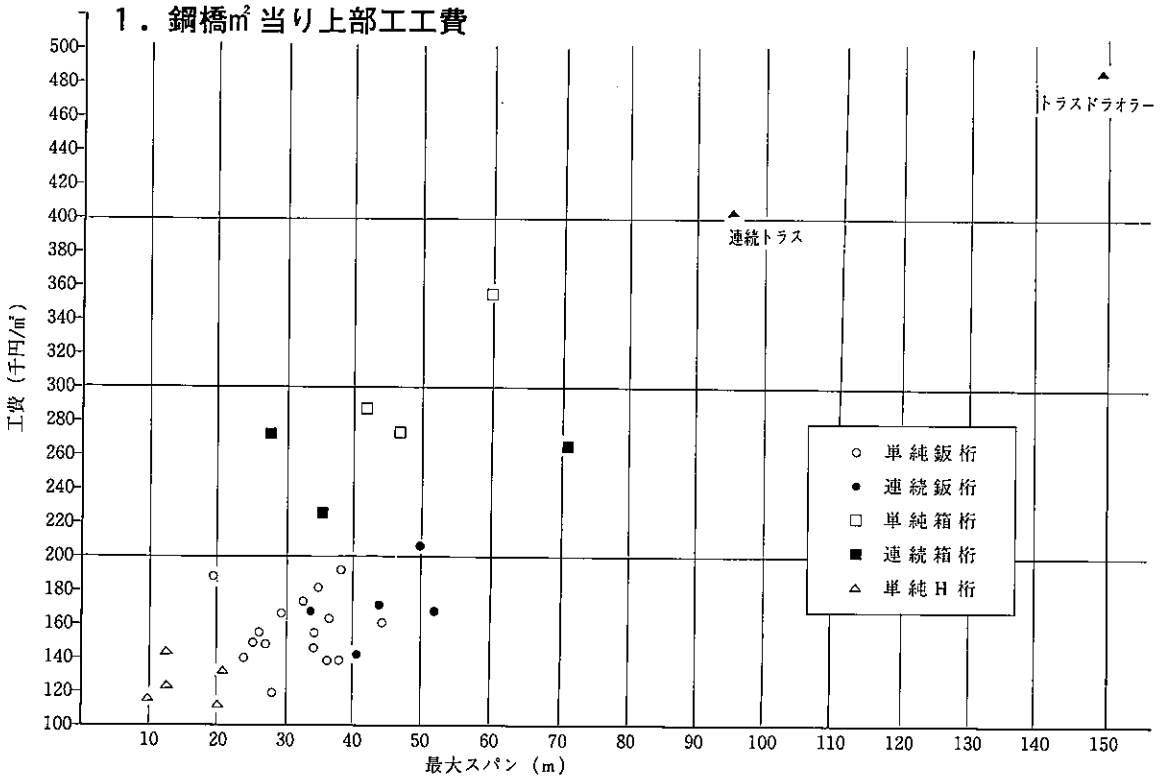
とう かい 橋 (一般国道289号)  
東 開

昭和60年架設 裸使用

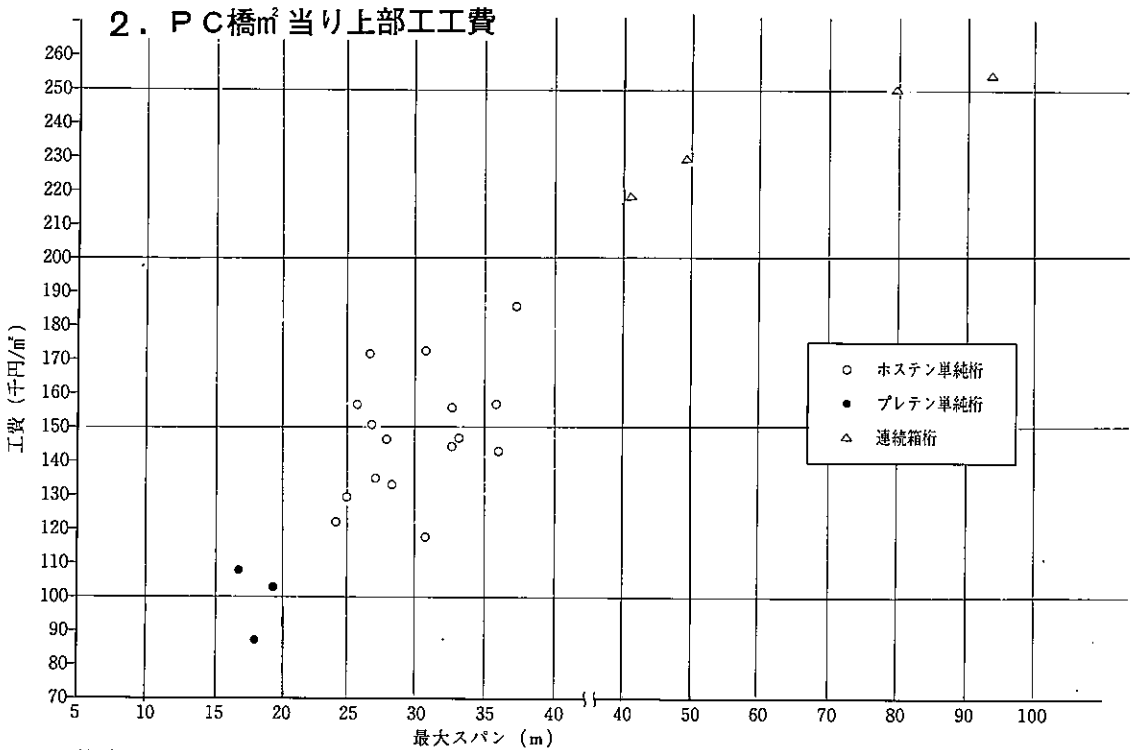


### (3) 橋種、橋長別上部工工事費

#### 1. 鋼橋 $m^2$ 当り上部工工事費



#### 2. PC橋 $m^2$ 当り上部工工事費



注意：上部工工事費については昭和55年度から昭和60年度までの資料を用いており、単価の変動等を考慮していないので使用にあたっては留意のこと。なお、上部工工事費内訳を表にまとめ、次項に載せてあるので参考とされたい。

### 3. 鋼橋上部工費内訳

路線名	橋名	L =	W =	上部工形式	鋼材重量 (t)	上部工単費	上部工 1部 当り 単価	桁梁片まで 1工 当り 取価	桁梁片まで 1工 当り 取価	全体鋼重 (t/kg/m)	上部工施工年次
289号 (西郷村大字真船)	第2剣桂橋	L=141.0	W=6.0/8.0	3径間連続非合成鋼桁 (45.0+50.05+45.0)	310	232,100	206,000	749,000	445,000	275	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
294号 (長沼町大字勢至堂)	西銅谷橋	L=39.3	W=6.0/8.0	単純合成鋼桁(25.5)	38	31,100	148,000	818,000	488,000	179	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
㊦会津坂下塩川 (釜坂下大字立川 塩川町大字下道田)	立川橋	L=314.85	W=6.0/10.0	単純合成H鋼桁(12.35) 3径間連続非合成鋼桁 2連(2@52.5+52.5)	843	533,600	169,000	633,000	418,000	268	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
㊦二本松川俣 (茨瀬町下川崎 黄瀬町水郷)	新舟橋	L=187.0	W=6.0/9.75	トラスドラゴンガー桁(15.1)	792	746,700	490,000	943,000	540,000	524	656) トラファグレートによるスタージャンク工法 モン(後品り)工法
㊦喜多方北塩原	大塩2号橋	L=77.35	W=6.0/8.0	単純合成鋼桁(29.7)	46	27,200	90,000	591,000	472,000	158	
(北塩原村大字大塩)				3径間連続非合成 曲線箱桁(3@25.5)	178	167,000	270,000	938,000	547,000	288	656) R=80 引き出し工法
㊦須賀川田島 (常葉町大字常葉)	影沼橋	L=88.0	W=6.5/9.0	単純合成鋼桁3連 (3@28.70)	130	93,500	118,000	719,000	424,000	164	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
(須賀川市西川)	高橋	L=27.5	W=6.0/10.0	非合成鋼桁 (26.65)	56	40,700	148,000	727,000	436,000	204	㊦ R=120m トラファグレートによるスタージャンク工法
289号 (西郷村大字真船)	縞石橋	L=61.0	W=6.0/8.0	単純合成鋼箱桁 (60.2)	205	173,200	355,000	845,000	513,000	419	656) 引き出し取置(スタージャンク)
349号 (川俣町小島)	岩佐久(道平)橋	L=45.0	W=6.0/12.0	単純合成鋼箱桁 (44.088)	118	86,800	161,000	736,000	474,000	219	㊦ トラファグレートによるスタージャンク工法
㊦下郷本郷 (下郷町大字大内)	大内1号橋	L=40.0	W=5.5/8.0	単純合成鋼桁 (39.2)	80	61,400	192,000	768,000	413,000	250	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
294号 (長沼町大字勢至堂)	勢至堂大橋	L=87.0	W=6.0/8.0	3径間連続非合成鋼桁 (26.2+33.8+26.2)	133	116,300	167,000	874,000	484,000	191	656) トラファグレートによるスタージャンク工法
352号 (田島町大字滝ノ原)	向滝橋	L=37.8	W=6.0/10.0	単純合成鋼桁 (36.8)	77	62,000	164,000	805,000	545,000	204	㊦ トラファグレートによるスタージャンク工法
400号 (昭和村大字松山)	綱木橋	L=108.0	W=6.0/8.0	3径間連続非合成鋼桁 (3@35.7)	232	190,400	220,000	821,000	518,000	269	656) トラファグレートによるスタージャンク工法





路線名	橋名	L =	W =	上部工形式	鋼材重量 (t)	上部工事費	上部工 1m当り単価	上部工 1t当り単価	桁製作まで 1t当り単価	全体重量 kg/㎡	上部工施工年次
①下郷本郷 (下郷町大字大内)	大内2号橋	L=19.8	W=5.5/7.0	単純合成鋼板桁 (19.00)	22	25,800	186,000	1,173,000	528,000	159	⑤⑥ トラッカクレーン
①草野大倉鹿島 (飯館村大倉)	葉山橋	L=74.0	W=5.5/7.0	単純合成鋼板桁(3連) (2@24.084+24.093)	83	72,100	139,000	869,000		160	⑤⑥⑦ トラッカクレーン、ケーブル クレーンによるスターティング工法
①草野大倉鹿島 (飯館村大倉)	閑場沢橋	L=107.2	W=5.5/7.0	単純合成鋼板桁3連 3@35.0	138	107,300	143,000	778,000		184	⑤⑥⑦ トラッカクレーン、ケーブル クレーンによるスターティング工法

#### 4. PC橋上部工費内訳

路線名	橋名	L =	W =	上部工形式	主桁本数 (本)	上部工事費	上部工 1m当り単価	上部工 1t当り単価	桁製作まで 1t当り単価	全体重量 kg/㎡	上部工施工年次
352号 (縮岩村大字八総)	山の神橋	L=38.5	W=6.0/8.0	PC単純T桁(ボステン) (37.5)	5	56,900	185,000				⑤⑦ 架設桁、斜角70°
③小名浜平 (いわき市平)	菱川橋	L=57.3	W=13.0/23.0	PC単純T桁(プレテン)3連 (3@18.47)	24	113,500	86,000				⑤⑥⑦ トラッカクレーン
①棚倉矢吹 (棚倉町大字深川)	社川橋	L=51.5	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@24.96)	12	66,000	128,000				⑤⑥⑦ 架設桁
①大倉大橋浜野 (南郷村大字和泉田)	富沢橋	L=34.85	W=5.5/7.0	PC単純T桁(プレテン)2連 (2@16.75)	16	26,200	107,000				⑤⑥⑦ トラッカクレーン
①草野大倉鹿島 (飯館村大字柏久保)	柏久保橋	L=54.0	W=5.5/7.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@26.24)	8	56,800	150,000				⑤⑦ 架設桁
352号 (飯館村大字堀の原)	広瀬橋	L=64.35	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@32.3)	12	92,400	144,000				⑤⑥⑦ 架設桁
400号 (金山町大字玉梨)	大綱木橋	L=67.5	W=6.0/8.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@32.96)	10	83,800	155,000				⑤⑦ 架設桁、斜角70°
①向山会津長野(峠) (田島町大字長野)	長野(大川)橋	L=186.05	W=6.0/9.75	PC単純T桁(ボステン)6連 (6@30.15)	36	210,600	116,000				⑤⑥⑦ 架設桁
③相馬馬亙理 (新地町大字今泉)	浜畑橋	L=85.7	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)3連 (3@27.80)	18	112,500	131,000				⑤⑥⑦ 架設桁

路線名	橋名	L =	W =	上工形式	主桁本数 (本)	上工工事費	上工 1m <sup>2</sup> 当り単価	上工 1m <sup>2</sup> 当り単価	桁製作まで 1m <sup>2</sup> 当り単価	全桁鋼重 kg/m <sup>2</sup>	上部工施工年次
①大久保野沢(傍 西会津町大字野沢)	中野橋	L=99.0	W=6.0/10.0	3径間連続PC箱桁 (41.5+16.0+41.5)		207,300	209,000				595 ティビダーク張出し架設
400号 (金山町大字玉梨)	小網木橋	L=62.0	W=6.0/8.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@30.1)	10	84,300	170,000				59 架設桁
①草野大倉鹿島 (飯館村大倉)	渡戸橋	L=84.8	W=5.5/7.0	PC単純T桁(ボステン)3連 (3@27.5)	12	86,600	146,000				59 架設桁
115号 (福島市土湯温泉町)	東鶴川橋	L=220.0	W=6.5/8.5	3径間連続PC箱桁 (70.3+94.0+54.3)		479,500	253,000				595 ティビダーク張出し架設
352号 (檜枝岐村七入)	七入橋	L=66.5	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@32.39)	12	96,600	145,000				595 架設桁
①白河石川 (石川町大字沢井)	王子橋	L=72.84	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@35.445)	12	114,600	157,000				595 架設桁
①須賀川田島 (下郷町大字枝松)	枝松橋	L=99.4	W=6.0/8.0	2径間連続PC箱桁 (2@48.90)		181,600	228,000				595 挿出し工法
①日立いわき (いわき市勿来)	観音橋	L=28.1	W=6.0/12.0	PC単純T桁(ボステン) (27.33)	7	45,300	134,000				59 架設桁
①三穂田須賀川 (須賀川市仁井田)	一夜館橋	L=54.4	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@26.30)	12	91,900	169,000				59 架設桁
①磐城太田(傍 (原町市益田)	益田橋	L=50.15	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ボステン)2連 (2@24.30)	12	60,000	120,000				59 トラッククレーン
①川俣安達 (福島市松川町)	下田橋	L=41.0	W=6.0/10.0	PC単純T桁(ブレン)2連 (2@19.84)	10	42,000	102,000				59 トラッククレーン
①いわき浪江 (広野町大字上北迫)	水田農橋	L=25.8	W=6.0/8.0	PC単純T桁(ボステン) (25.2)	5	32,200	156,000				59 トラッククレーン
①いわき浪江 (富岡町大字上郡山)	上郡山橋	L=63.5	W=6.0/8.0	PC単純T桁(ボステン) (35.90+25.80)	10	71,400	141,000				59 架設桁
①草野大倉鹿島 (飯館村大倉)	松ヶ平橋	L=200.0	W=5.5/7.5	3径間連続PC箱桁 (60.0+80.0+60.0)		348,700	249,000				595 ティビダーク張出し架設

(4) 長大橋一覽表

管内	一般国道				主要地方道				一般県道								
	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考	橋名	箇所	橋長	幅員	備考	橋名	箇所	橋長	幅員	備考	
福島	115号	福島	山口大橋	165	6.5/8.0	S.47	川俣安達	飯野	新飯野橋	122	4.0/4.5	S.11	福島	あづま陸橋	450	13.0/21.0	S.48
	〃	〃	文知摺橋	242	13.0/21.0	S.54	福島飯坂	福島	上松川橋	122	8.5/12.5	S.30	〃	松島橋	176	4.8/5.3	T.14
	〃	〃	信夫橋	185	7.5/14.0	S.8	上名館紙伊達	〃	日ノ倉橋	170	6.5/8.0	S.45	〃	摺上橋	160	5.5/6.0	S.41
	〃	〃	方木田之線橋	300	13.0/15.0	S.57							〃	幸橋	186	6.0/8.8	S.51
													〃	八木田橋	166	4.0/6.5	S.5
													〃	仁井田橋	120	4.0/4.5	S.10
保原	349号	梁川	梁川橋	373	5.5/6.0	S.32	浪江国見	桑折	伊達崎橋	303	5.5/6.0	S.36	伊達	大正橋	280	6.5/8.5	S.47
	399号	伊達	伊達橋	288	6.5/7.0	S.40							梁川	兜橋	155	5.5/9.0	S.55
	〃	〃	伊達橋歩道橋	263	3.5	T.10											
二本松																	
							二本松浪江	二本松	高田橋	144	5.1/5.6	S.14	本宮	上ノ橋	129	5.0/5.5	S.32
							本宮三春	本宮	安達橋	122	5.0/5.5	S.11	二本松	安達ヶ橋	342	6.0/11.5	S.56
													二本松	金色陸橋	165	6.0/10.2	S.55
													東和	新舟橋	187	6.0/9.75	S.57
													二本松	羽石高梁橋	314	9.0/11.5	S.54
													本宮	昭代橋	172	6.5/12.5	S.59
郡山	288号	郡山	達限橋	227	6.5/10.4	S.44	郡山大越	郡山	阿久津橋	251	6.2/10.8	S.48	郡山	御代田橋	102	5.0/5.5	S.29
													郡山	行合橋	207	9.0/14.0	S.44
													郡山	小和滝橋	119	3.5/4.0	S.36
三春	288号	郡路	郡路大橋	219	6.0/8.0	S.52											
須賀川	118号	須賀川	乙字大橋	117	6.0/8.0	S.43											
石川													石川	津津橋	141	4.0/4.5	S.18

管内	一般国道				主要地方道				一般県道									
	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考						
白河	289号	白河	昭和大桥	232	13.0/21.3	S.53	棚倉矢吹	中島	常盤橋	129	5.5/6.0	S.33	母畑白河	白河	鹿島橋	158	5.5/6.0	S.37
	294号	〃	田町大桥	105	5.5/9.3	S.39							高取(田野野)	白河	大正橋	150	6.5/8.0	S.49
棚倉	118号	矢祭	矢祭大桥	151	6.5/8.6	S.48							泉崎浅川	泉崎	泉崎大桥	229	6.0/12.0	S.58
	〃	棚倉	松岡橋	121	6.5/7.0	S.35							石井大子	橋	久慈川橋	120	5.5/6.0	S.39
	〃	矢祭	新矢祭橋	160	6.5/7.0	S.39												
喜多方	121号	塩川	南大桥	182	6.5/10.6	S.45	塩川山都	喜多方	泡の巻橋	101	5.0/5.5	S.38	上郷下野尻	西会津	柴崎橋	269	4.0/4.5	S.34
							〃	〃	新宮橋	185	4.0/4.5	S.41	上郷赤渡	高郷	塩坪橋	115	5.0/5.5	S.37
							会津下山郡 西会津	西会津	奥川橋	104	6.0/6.5	S.43	上郷赤渡	高郷	西羽賀橋	129	4.0/4.5	S.37
							〃	山都	山都橋	112	5.0/7.0	S.41	会津坂下塩川	塩川	山王橋	144	4.0/4.5	S.38
							喜多方西会津	高郷	峯橋	111	5.0/5.5	S.35	山都柳津	山都	川井橋	142	6.0/8.0	S.47
							〃	喜多方	濁川橋	142	5.0/5.6	S.9	藤沢喜多方	喜多方	兄頃橋	171	6.0/9.75	S.54
猪苗代													日中喜多方	喜多方	吉志田橋	123	6.0/9.75	S.59
													塩揚本町	猪苗代	西館1号橋	165	5.5/6.0	S.42
													川原T堅田	猪苗代	中ノ目橋	170	5.5/8.0	S.48
会津若松	121号	会津若松	小谷橋	158	6.5/8.0	S.40	会津高田上三寄	本郷	馬越橋	120	5.5/6.0	S.43	桑原(T)	会津若松	大川湖面橋	425	5.5/7.0	S.57
	〃	〃	新大川橋	331	6.5/8.0	S.52	会津高田上三寄	会津高田	竹原橋	100	6.0/8.0	S.45	別舟渡	会津坂下	片門橋	166	3.8/4.3	S.26
	〃	〃	芦ノ牧橋	191	6.0/10.5	S.42	会津若松三島	会津若松	蟹川橋	574	5.5/6.0	S.34	会津高田本郷	会津高田	中川橋	120	5.5/6.0	S.42
	〃	湯川	浜崎之線橋	236	6.5/8.0	S.46	会津若松南郷	〃	高田橋	515	5.0/7.5	S.6	会津坂下塩川	会津坂下	立川橋	315	6.0/10.0	S.56
							喜多方会津坂下	会津坂下	会青橋	349	5.0/5.5	S.12						



管内	一般国道				主要地方道				一般県道										
	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考	路線	箇所	橋名	橋長	幅員	備考	
宮下	252号	柳津	滝谷川橋	121	5.5/6.0	S.28													
	〃	金山	西谷橋	138	5.5/6.0	S.29													
	〃	〃	本名橋	161	5.5/6.0	S.30													
	〃	〃	水沼橋	240	6.5/8.5	S.46													
	〃	柳津	柳津橋	183	6.5/10.0	S.47													
	〃	〃	瑞光寺橋	149	6.5/10.0	S.47													
	〃	三島	早戸大橋	255	5.5/7.5	S.51													
	400号	昭和	綱木橋	108	6.0/8.0	S.59													
田島	121号	田島	田島橋	152	5.5/6.0	S.37	須賀川田島	下郷	二川橋	115	5.0/5.5	S.35	栗生沢田島	田島	大橋	125	3.5/4.0	S.35	
	〃	下郷	若水橋	130	6.0/7.0	S.41							落合豊成	下郷	八幡橋	149	6.0/9.75	S.59	
	〃	田島	山王大橋	119	6.5/8.5	S.54							向山津野野田	田島	長野橋	186	6.0/9.75	S.58	
	〃	下郷	三沢橋	106	6.0/7.5	S.56							高岡田島	〃	加藤谷川橋	135	3.2/3.7	S.43	
	〃	〃	橋原橋歩道橋	104	3.0	S.53													
	〃	〃	若水歩道橋	138	4.0	S.56													
	289号	田島	永田橋	205	5.5/6.0	S.35													
	352号	〃	金竜橋	100	5.3/6.0	S.41													
	〃	〃	銀竜橋	133	5.0/5.5	S.43													
山口	252号	只見	寄岩橋	250	5.5/6.0	S.36							小林籠ノ川	只見	黒沢橋	150	3.5/4.0	S.42	
	〃	〃	浦生橋	155	5.5/6.0	S.36													
	〃	〃	中丸橋	125	5.5/6.0	S.36													
	〃	〃	塩沢橋	117	5.5/6.0	S.36													
	〃	〃	只子沢橋	100	5.5/6.0	S.36													
	289号	〃	明和橋	102	5.5/6.0	S.36													
	289号	橋郷	東橋	107	6.0/8.0	S.50													

管内	一般国道				主要地方道				一般県道									
	路線	箇所	橋名	橋長	橋員	備考	路線	箇所	橋名	橋長	橋員	備考	路線	箇所	橋名	橋長	橋員	備考
							原町川俣	原町	沢見橋	159	6.0/7.8	S.51	浪江鹿島	原町	新田橋	108	6.8/7.3	S.28
						〃	〃	原町二線橋	231	9.0/11.7	S.45	〃	鹿島	鹿島橋	136	6.5/7.0	S.36	
													大芦鹿島	〃	桜田橋	134	8.0/12.0	S.47
													北泉小高	小高	小高二線橋	270	8.0/9.0	S.48
													〃	原町	蛙川橋	149	6.0/8.5	S.48
													草野大倉鹿島	鹿島	関場沢橋	107	5.5/7.0	S.57
													〃	〃	菅掛沢橋	126	〃	S.56
													〃	〃	松ヶ平橋	200	〃	S.58
													原町海老相馬	原町	西殿橋	103	6.0/8.0	S.36
													〃	鹿島	真島橋	174	6.0/12.5	S.53
富岡	114号	浪江	大柿橋	107	6.0/9.3	S.55	いわき浪江	雷岡	はなやま 麓山大橋	150	6.0/8.0	S.55	長塚新戸浪江	浪江	請戸橋	240	5.5/6.0	S.39
	〃	〃	第2沢中橋	101	6.0/9.3	S.57							落合浪江	〃	高瀬橋	130	6.0/7.5	S.47
	〃	〃	睡守橋	296	6.0/9.3	S.56							小橋上郡山	檜葉	木戸川橋	120	5.0/5.5	S.21
													〃	〃	井出川橋	109	6.0/6.7	S.21
													長塚新戸浪江	浪江	幾内橋	125	5.5/9.0	S.54
いわき	399号	いわき	平二線橋	122	9.4/15.2	S.39	いわき石川	いわき	絹本二線橋	111	6.5/13.0	S.40	釜戸小名浜	いわき	泉二線橋	140	6.5/8.0	S.49
	〃	〃	磐城橋	136	5.0/5.6	S.17	小名浜四倉	〃	芳川橋	118	6.0/15.5	S.51						
							〃	〃	六十枝橋	259	6.0/12.0	S.54						
							小野四倉	〃	四倉二線橋	183	6.0/10.0	S.58						
勿来							常盤勿来	いわき	駿川橋	400	6.5/9.0	S.13						

### (5) 立体交差化すべき踏切道

県内には、東北本線外国鉄8路線が縦横に走り、これらと平面向差する箇所が多く、交通のあい路となっている。このため、踏切道の事故防止、円滑な道路交通確保を図る上で、踏切道の立体交差化に積極的に取り組んでいる。県管理道の踏切数は、118箇所、うち10箇所について踏切除却工事を実施中である。なお、県内の法指定箇所は、1次から12次指定まで合計33箇所にのぼる。

(法指定とは、踏切道改良促進法に基づき指定された踏切道である。)

### 2. 県内法指定箇所一覧表

指定次数	踏切道名称	位置	鉄	道	道	踏切道	備考
1次	米沢街道	福島市森合字台26	国	東北本線	国道13号(県道福島飯坂線)	37.10.1	41.3.31 直轄
(37.2.26)	会津街道	安藤郡百和町大字日和田(福島市日和田町)	〃	〃	県道三穂田夏出日和田線	37.11.10	40.3.31
	米村街道	白河市昭和町327の1	〃	〃	〃 舟津羽鳥白河線	37.7.14	40.3.31
	才樋街道	平市才樋小路25(いわき市才樋小路)	〃	常磐線	〃 平小野新町線	39.5.20	41.3.31
	(計4)						
2次	小浜街道	二本松市大字成田字能井作30	国	東北本線	県道三春二本松線	39.12.1	41.3.31
(37.9.4)	若松街道	郡山市猪苗代町大字千代田字前出町289の3	〃	磐越西線	県道福島若松線(国道115号)	38.11.15	40.3.31
	御所街道	勿米市穂田町字番所下27(いわき市勿米)	〃	常磐線	県道勿米小野線	37.11.22	40.3.25
	(計3)						
3次	米沢街道	福島市森合字台9の7	福島交通	飯坂線	国道13号(県道福島飯坂線)	39.1.20	41.3.31 直轄
(40.8.11)	(計1)						
6次	第一高坂	いわき市内郷高坂	国	常磐線	市道高坂線町線	46.6	50.3
(45.12.1)	渋佐街道	原町市大町	〃	〃	県道原町川俣線	43.7	46.3 都計(街路)
	第一荒町	相馬郡小高町	〃	〃	〃 北泉小高線	46.11	50.3 〃(〃)

### 1. 県管理道の踏切数

(昭和60年4月1日現在)

鉄道線路名	箇所数	法指定箇所数	踏切除却工事実施中箇所数
東北本線	19	2	5
奥羽本線	1	0	0
常磐線	21	0	3
磐越東線	30	1	1
磐越西線	19	1	1
水郡線	10	0	0
会津線	5	0	0
只見線	12	0	0
小計	117	4	10
私鉄(福島交通)	1	0	0
その他小計	1	0	0
合計	118	4	10

宮	宮	つ	下	福島市永井川	国	鉄	東北本線	市道段越宮下線	46.11	47.11	
	第2	喜多	方街	河沼郡湯川村	〃		磐越西線	国道121号	43.6	46.6	
	磐城	常葉	街	田村郡船引町	〃		磐越東線	国道288号	42.4	46.3	
	小里	街	道	いわき市泉町	〃		常磐線	県道磐城豊間四倉線	45.3	50.10	
		(計7)									
7	次	関田	街	いわき市	国	鉄	常磐線	国道289号	45.6	52.3	
(47.6.28)	第1	奥州	街	須賀川市	〃		東北本線	県道須賀川二本松線	44.8	50.10	
		(計2)									
8	次	第1	南町街	会津若松市	国	鉄	只見線	県道会津若松伊南線	50.4	55.3	都計(街路)
(49.11.25)	三	春	街	二本松市	〃		東北本線	県道二本松安達線	50.12	56.3	〃(〃)
	本	宮	街	田村郡三春町	〃		磐越東線	県道本宮三春線	56.7		工事中
	磐	城	街	いわき市	〃		常磐線	〃小野四倉線	51.2	60.3	
		(計4)									
10	次	第2	会津街	安達郡本宮町	国	鉄	東北本線	県道本宮熱海線	51.8	58.12	
(52.12.26)	針	道	街	二本松市	〃		〃	〃山木屋二本松線	48.9	57.3	
	関	平	街	西白河郡泉崎村	〃		〃	〃泉崎浅川線	50.6	58.11	
	大	寺	街	河沼郡河東町	〃		磐越西線	〃会津坂下河東線	47.8	57.3	
	陣	場	道	郡山市	〃		東北本線	市道下河原木水線	53.5	54.10	市町村道
	旧	三	春	〃	〃		〃	〃久保田恩田線4号	55.12	59.3	〃
		(計6)									
11	次	新	本	郡山市	国	鉄	磐越東線	市道久保田一号	58.4		工事中 市町村道
(55.4.15)	勿	来	関	いわき市	〃		常磐線	〃浜田寺下線	56.2		〃
	第	一	高	白河市	〃		東北本線	〃高山第2号	57.4		〃
		(計3)									
12	次	第5	奥州街	郡山市	国	鉄	東北本線	県道須賀川二本松線	55.6		工事中
(58.3.24)	塩	川	街	耶麻郡磐梯町	〃		磐越西線	〃猪苗代塩川線	58.6		〃
	桑	折	飯	伊達郡桑折町	〃		東北本線	〃飯坂桑折線	58.6		〃
		(計3)									
		(1次~12次	計33)								



## お わ り に

昭和61年度新規事業として、いよいよ中央径間1,780メートルという世界最長径間をもつ橋長3,560メートルの長大吊橋「明石海峡大橋」が着工される見通しとなりました。これは昭和60年に開通した四国と淡路島を結ぶ本州・四国連絡橋の一つ大鳴門橋や現在施工中のやがて日本最長径間となる南備讃、瀬戸大橋を抜いて日本一になるのはむろん、1981年（昭和56年）に完成した英国のハンバー橋（Humber）の中央径間1,410メートルをはるかに凌ぐ世界一の長大吊橋が誕生することになる。上部鋼重18万トンに達し、コンクリート量も126万立方メートルと莫大なもので群を抜いて名実共に世界一の橋梁となるのは間違いない。

私が橋梁係長を務めた昭和44年頃は日本列島改造論が飛びかい、さかんに島国「日本」を結ぶ道路の大規模プロジェクトが脚光を浴びてきた時代でありました。そして1973年（昭和48年）関門橋の開通は関門海峡をひとまたぎに渡る長大吊橋の幕明けでもありました。そして今、約15年後の現在、本州・四国を結び瀬戸内海をまたぐ長大吊橋群の建設が進められているとは、ほんとに夢のようなことです。我が国の経済成長もさることながら、技術の進歩には驚ろかされています。

このような現状を見るにつけ、諸先輩の築きあげた技術の集積があつてこそ実現したものであり、福島県の橋梁は規模こそ小さいが基本的な技術は変わるものではなく、その技術の集積をたいせつにして欲しいと願うものであります。この意味で昨年に続き今回「福島県の橋梁」59年度版が刊行されることは、たいへん意義深いことです。

最後になりますが、内容の充実を図りながら、刊行を積重ね、幅広く活用される本となる事を期待するとともに、忙しい中刊行にあたりまして御協力くださった方々に深く感謝いたします。

道路建設課長 横 山 英 夫

## 編集後記

「福島県の橋梁」昭和59年度版の編集に入ったのは年も明けた1月下旬です。「もっと仕事に余裕のできる夏頃に編集すればよいのに」と思いつつようやく重い尻をもち上げ動き出した訳です。こんな訳で、短時間の割には良く出来ているし、希望を言えばもっと内容の充実がほしいと言う事かもしれません。

ところで、初版の昭和58年度版を見ていただき、各方面よりお誉めの言葉をいただいたり貴重な御意見を拝聴でき、編集委員一同感謝しております。ほんとうにありがとうございました。ただ、黒の表紙につきましては説明不足の点もありまして「黒枠の表紙に中野橋の雪景色とはいかにも橋梁係らしく陰険(?)で暗いイメージだな」と言うような貴重な御意見もあり、「明るく いつも楽しい橋梁係」のイメージには若干合わなかったかなと編集委員一同これまた反省の色を見せている訳ですが、表紙はその年度の代表的な完成橋梁を載せる事にしており、どんな色にも合い画面を引き出させる黒枠を選んだものです。こんな訳で今後も黒を基調にしていきたいと思っております。また「明るく いつも楽しい橋梁係」を今後共可愛いがっていただくようお願いいたします。

昨年の58年度版では「橋梁の文化化」について安達郡本宮町の阿武隈川に架かる昭代橋の例をとりあげましたが、今回は昭和60年度に完成した耶麻郡塩川町の日橋川に架かる東大橋と南会津郡桧枝岐村の尾瀬観光の入口にあたる七入川に架かる七入橋について、角度の変った面より、「橋梁の文化化」をとらえてみました。また県内の耐候性鋼を使用した橋梁の特集。橋種、橋長別上部工工事費等、技術的に必要となる資料も収録し内容の充実に努めました。技術者以外の方々に広く見ていただくとともに、技術者の方にも、机の片隅にいつも置いていただけるような本にもしようと努力し編集を続けていきたいと考えております。

最後に「福島県の橋梁」昭和59年度版発刊にあたり、忙しい中原稿を御協力いただきました各位に対し、厚くお礼を申し上げ編集後記といたします。

編集委員長 橋梁係長 滝田久満  
主査 根本博行  
技師 佐藤岩男

# 索引 「昭和59年度版」

## 〈あ 行〉

飯樋橋 .....14、64  
池下橋 .....62  
岩弓橋 .....62  
馬 橋 .....10、62  
大金沢橋 .....42、64  
扇 橋 .....62  
落合橋 (会津若松南郷線) 19、62  
落合橋 (浪江三春線) .....64  
斧切沢橋 .....62

## 〈か 行〉

上小川橋 .....62  
上橋場橋 .....62  
軽井沢橋 .....34、62  
川田橋 .....62  
北沢橋 .....64  
久根内橋 .....64  
九ノ沢橋 .....66  
倉下橋 .....62  
黒滝橋 .....46、60  
小綱木橋 .....12、62

## 〈さ 行〉

西海枝4号橋 .....48、60  
下田橋 .....30、62  
下の沢橋 .....64  
昭代橋 .....18、60

白子橋 .....22、60  
勢至堂大橋 .....4、60  
瀬川橋 .....52、66

## 〈た 行〉

高橋橋 .....38、62  
玉川橋 .....60  
千代田こ線橋 .....51、66  
綱木橋 .....6、60  
遠北こ線橋 .....32、62  
戸中橋 .....8、60

## 〈な 行〉

中田橋 .....64  
中沼橋 .....47、64  
成田橋 .....62

## 〈は 行〉

箱淵橋 .....26、60  
八幡橋 .....28、60  
番屋橋 .....49、60  
日の出橋 .....16、60  
細木橋 .....60  
堀之内橋 .....36、62  
母畑橋 .....62

## 〈ま 行〉

松倉橋 .....62  
万才橋 .....20、60

道境橋 .....62  
向滝橋 .....60  
向原川橋 .....64  
門口橋 .....53、66

## 〈や 行〉

湯ノ作橋 .....50、64  
吉志田橋 .....24、60

## 〈わ 行〉

渡戸橋 .....44、64

